

構造設計標準仕様

適用は 印を記入する。

1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称 香川ランテグループ第3農場建設Ⅱ期工事

建築場所 宮崎県児湯郡川南町大字平田字大谷
4863-2の一部、4917-1の一部、4917-4の一部、4917-6の一部、4917-7、4917-11
4917-13の一部、4918-1の一部、4918-3の一部、4918-4の一部、4918-11 以上11筆

(2) 工事種別 新築 増築 増改築 改築

(3) 構造種別
木造 (W) 補強コンクリートブロック造 (CB) 鉄骨造 (S)
鉄筋コンクリート造 (RC) 壁式鉄筋コンクリート造 (WRC)
鉄骨鉄筋コンクリート造 (SRC) 壁式プレキャスト鉄筋コンクリート造 (WPRC)
プレキャスト鉄筋コンクリート造 (PRC)

(4) 階数
 地下階 地上 1階 塔屋 階

(5) 主要用途 畜舎

(6) 屋上付属物
広告塔 高架水槽 kN
煙突 キューピクル kN

(7) 増築計画 有 () 無

(8) 付帯工事
門塙 擁壁
エレベータ 人乗 (式) リフト kN ホイスト kN
倉庫積載床用 kN/㎡ 受水槽 kN

(9) その他

2. 使用構造材料

(1) コンクリート

適用箇所	種類	設計基準強度 $F_c = N/mm^2$	スランプcm	備考
捨コンクリート	普通	18	8	
土間コンクリート	普通	18 21 24	18	
基礎・基礎梁	普通	21 24 27	18	

(2) コンクリートブロック (CB)

A種 B種 C種 厚 100、120、150、190、

(3) 鉄筋

種類	径	使用箇所	継手工法
<input checked="" type="checkbox"/> SD295A	10, 13, 16	基礎・基礎梁	<input checked="" type="checkbox"/> 重ね継手
<input type="checkbox"/> SD295B			
<input type="checkbox"/> SD345			<input type="checkbox"/> 重ね継手 <input type="checkbox"/> ガス圧接継手
<input type="checkbox"/>			
丸鋼	<input type="checkbox"/> SR235		<input type="checkbox"/> 特殊継手
溶接金網	<input type="checkbox"/>		()

(4) 鉄骨

種類	使用箇所	現場溶接	備考
<input checked="" type="checkbox"/> SS400 <input type="checkbox"/> SM400A、B	柱、梁、ブレース	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> STK400 <input checked="" type="checkbox"/> STKR400	柱・梁	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SN400B <input type="checkbox"/> SN400A		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SM490A、B <input type="checkbox"/> BCR295		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SN490B <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input type="checkbox"/> SN490C <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
<input checked="" type="checkbox"/> SSC400	母屋・胴縁	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	

(5) ボルト

高力ボルト 普通、F10T 特殊、S10T認定品
 (M12、M16、M20、M22)

中ボルト $\phi = 12$ $\phi =$ 高力ボルトすべり係数試験 要 否

アンカーボルト SS400 M27 L=760mmナット (シングル) (ダブル)
 SS400 M20 L=580mmナット (シングル) (ダブル)
 SS400 M16 L=500mmナット (シングル) (ダブル)

スタッドボルト $\phi =$ L = mm

(6) 屋根、床、壁

ALC版 厚 100

押出し成形セメント板 厚

折板 型式 ハゼ H=90 厚 0.6

折板 型式 ボルト H=88 厚 0.6

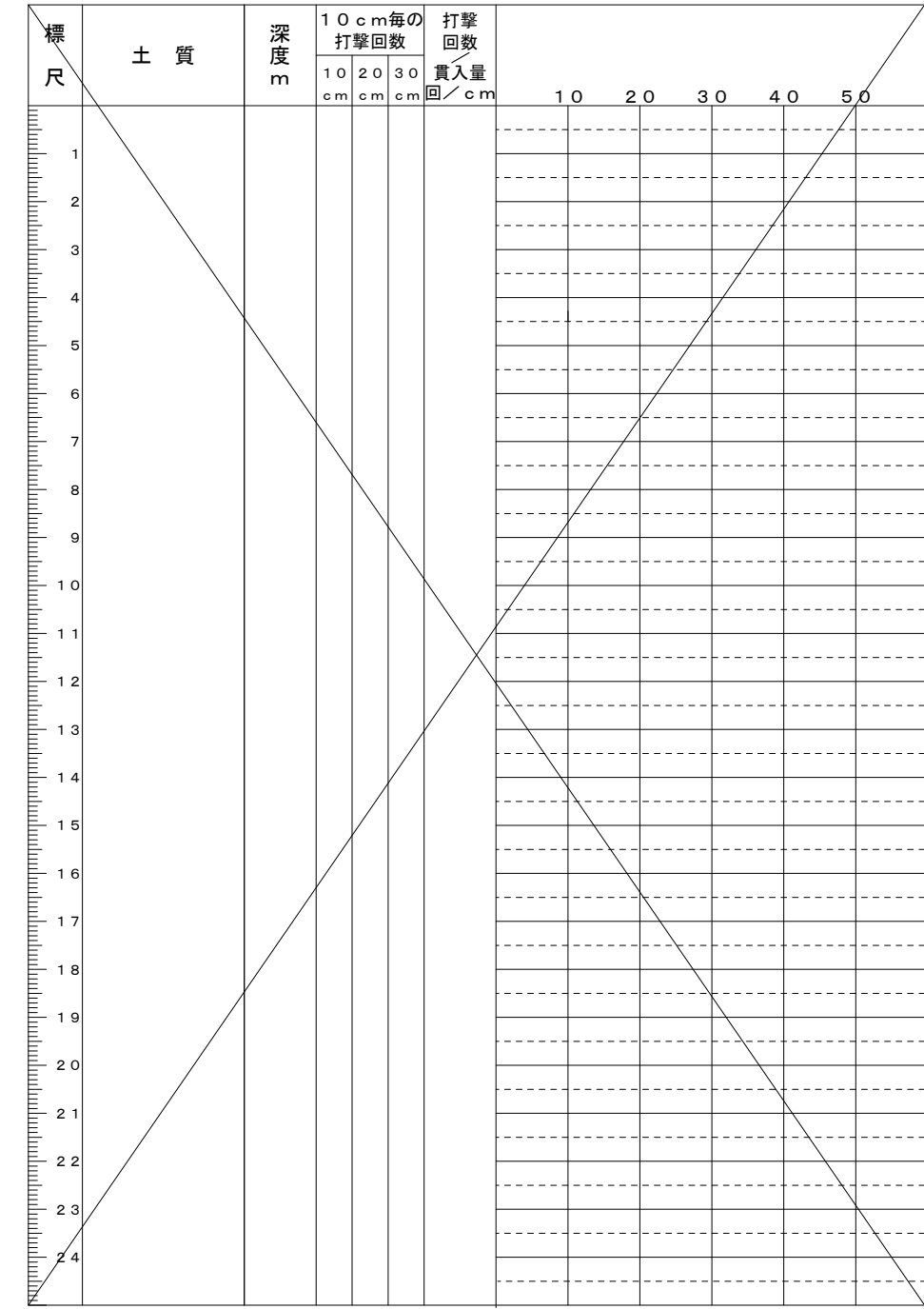
デッキプレート 型式 形 H= 厚

キーストプレート 型式 厚

特殊デッキプレート

3. 地盤

- (1) 地盤調査資料
有 (敷地内 近隣) ボーリング調査 平板載荷試験 スウェーデン式
無 (調査予定 有 無)
- (2) 地盤調査計画
ボーリング調査 静的貫入試験 標準貫入試験 水平地盤反力係数の測定
土質試験 物理探査 平板載荷試験
- (3) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある
- (4) ボーリング標準貫入値、土質構成 (基礎・杭の位置を明記すること。)



4. 地業工事

- (1) 直接基礎 ベタ基礎 布基礎 独立基礎 試験堀 有 無
 深さGL-0.85m, 0.45m, 1.95m
 長期地盤許容支持力度 120kN/㎡ 載荷試験 有 無
- (2) 杭基礎 支持層GL- m

杭種	材料	施工法	備考
<input type="checkbox"/> CPRC <input type="checkbox"/> PC	CPRC (<input type="checkbox"/> I種 <input type="checkbox"/> II種 <input type="checkbox"/> III種)	<input type="checkbox"/> 打ち込み	
<input type="checkbox"/> PHC <input type="checkbox"/> H鋼	PHC (<input type="checkbox"/> A種 <input type="checkbox"/> B種 <input type="checkbox"/> C種)	<input type="checkbox"/> 埋込み (ハイパーメガ工法)	
<input type="checkbox"/> 鋼管 <input type="checkbox"/> 摩擦杭	鋼材 <input checked="" type="checkbox"/> SS400	<input type="checkbox"/> 回転貫入鋼管杭	
<input type="checkbox"/> PHC節杭	<input checked="" type="checkbox"/> STK400		
現場所打ち	コンクリート $F_c =$	<input type="checkbox"/> オールケーシング <input type="checkbox"/> 拡底杭	拡底杭
コンクリート杭	セメント量 kg/m^3	<input type="checkbox"/> リバースサーキュレーション	日本建築センター認定 第 号
	鉄筋	<input type="checkbox"/> アースドリル <input type="checkbox"/> ミニアース	年月日
	主筋 SD	<input type="checkbox"/> BH <input type="checkbox"/> 深礎 <input type="checkbox"/> 機械掘	
	HOOP SD		

杭仕様 施工計画書承認 杭施工結果報告書
 試験杭 (有・無) (打ち込み・載荷) 本

杭径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項

5. 鉄筋コンクリート工事 (JASS5 2009年版)

- (1) コンクリート
- コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工に関してはJASS5による。
 セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
 フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。
 測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
 構造体コンクリート現場の圧縮強度試験供試体 (JASS5 T-603) は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。
 また、打込み量が150m³をこえる場合は150m³ごとまたは、その端数ごとに一回を標準とする。一回に採取する供試体は、適当な間隔を有した3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。
 ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ちコンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。
- (2) 鉄筋
- 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。
 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図」による。
 D19未満は、すべて重ね継手とする。継手(D19以上)をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
 ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(100箇所を超えるときは、100箇所ごと)に1回行い、1回の試験は5本以上とする。外観検査 有 無、引張試験 有 無、超音波探傷試験 有 無
 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、H型(タガ型) W型(溶接型) S型(スパイラル型)とする。
- (3) 型枠
- 材料 合板厚 12mmを標準とする。
 型枠存置期間

種類 部位	せき板		支柱					
	基礎、はり側、柱、壁	スラブ下、はり下	スラブ下		はり下			
セメントの種類 存在期間中の気温	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種	早強ポルトランドセメント 普通ポルトランドセメント 高炉セメントA種 シリカセメントA種		
コンクリート の材料 (日)	15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
	5~15℃	3	5	6	10	12	25	28
	5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	5N/mm ²	設計基準強度の50%				設計基準強度の		
		85%		100%				

- 注) 1 片持ちばり、庇、スパン9.0m以上のはり下は、工事監理者の指示による。
 注) 2 大ばりの支柱の盛りかえは行わない。また、その他のはりの場合も原則として行わない。
 注) 3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。
 注) 4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受け板、角材または、これに代わるものを置く。
 注) 5 支柱の盛りかえは、小ばりが終わってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。
 注) 6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事

- (1) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
- 日本建築学会「JASS6」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
- (2) 工事監理者の承認を必要とするもの
- 製作工場 製作要領書 工作図 施工計画書
 認定工場 (大臣・全鋼連認定H・M・Rグレード)
 材料規格証明書または試験成績書
 鋼材 高力ボルト 特殊ボルト スタッドボルト
 社内検査

- (3) 工事監理者が行う検査項目
- 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること
- 現寸検査 組立・開先検査 製品検査
 建方検査
- (4) 接合部の溶接は下記によること
- 東京都アーク溶接工事管理規程 (建築構造設計指針第12章)
 鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱 (建築構造設計指針第12章)
 日本建築学会「溶接工作規程、同解説Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ、Ⅶ、Ⅷ、Ⅸ」
- (5) 接合部の検査
- 溶接部の検査 (検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備考
		社内	第三者	工事監理者	
<input checked="" type="checkbox"/> 突合せ溶接部	超音波探傷試験	100%	%	%	第三者検査機関の検査数は左記によるほか、建築工事共通仕様書7.6.11
<input type="checkbox"/>	外観(目視)検査	100%	%	%	溶接部の試験に準拠する事
<input type="checkbox"/>	マクロ試験・その他	個	個	個	
第三者検査機関名					

注) 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。

- 高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。
 摩擦面の処理は黒皮などを産金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した、赤さび状態であること。ただし、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面あさが50S以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。
- 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく調整されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分密着するよう注意して行う。また、締付けは原則として2度締めとする。
 締付け後の検査は、各締付け工法別に適切な締付けが行われているか検査する。
- (6) 防錆塗装
- 防錆塗装の範囲は、高力ボルト接合の摩擦面及びコンクリートで被覆される以外の部分とする。
 錆止めペイントはJIS K5621、2回塗りを標準とする。
 現場における高力ボルト接合部及び接合部の素地調整は入念に行い、塗装は、工場塗装と同じ錆止めペイントを使用し2回塗りとする。
- (7) 耐火被覆の材料
 強化石膏ボード t=21

7. 設備関係

- 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を5cm以上とする。

8. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。

9. 令第129条の2の4の事項

- ※設計が該当する場合には、にチェックを記入する。
- 昇降機にかかる設計図書
- 建築物設ける建築設備にあつては、構造耐力上安全なものとして、以下の構造方法による。
- 建築設備(昇降機を除く)の支持構造部及び緊結金物で腐食又は腐朽のおそれがないこと。
- 屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に緊結すること。
- 煙突の屋上突出部の高さは90cm以下とすること。(鉄製の支持を除く)
- 煙突が屋内にある場合は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロックとすること。
- 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とする。(耐震措置の計算及び施工方法は、建築設備耐震設計・施工指針2005年版「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修」によること。)
- 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水槽、煙突その他これらに類するものにあつては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の振動及び衝撃に対して構造耐力上安全であること。
- 満水時に15kgを超える給湯設備の転倒防止は、平成24年国交省告示1447号第5号に準拠した固定方向とする事。

記事
 ※構造図については地盤改良深さ以外、4号鶏舎、5号鶏舎、6号鶏舎すべて共通とする。

鉄骨構造標準図(1)

1. 一般事項

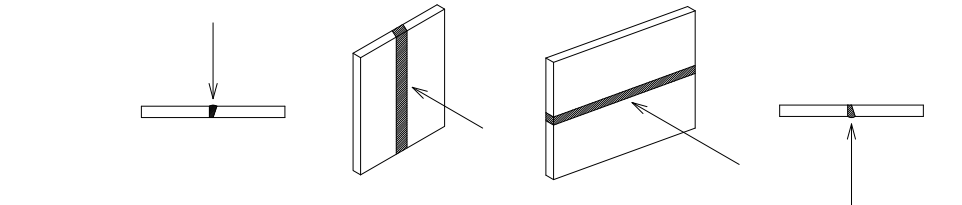
- (1) 材料及び検査
 (a) 構造設計仕様による
 (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが4.0mm以下のものとする
 (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

- (2) 工作一般
 (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事管理者の承認を得る
 (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断による
 (c) 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする

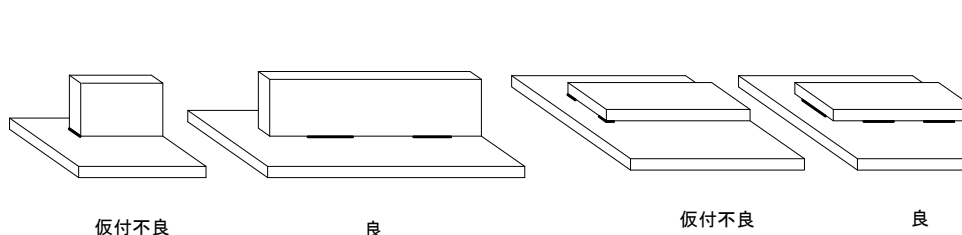
- (3) 高力ボルト接合
 (a) 本締めに適用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

- (4) 溶接接合
 (a) 溶接工
 溶接工は施工する溶接に適用するJIS Z 3801(手溶接)又はJIS Z 3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
 (b) 溶接機器
 (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 (ロ) アークエアークラウジング機(直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
 (ハ) サーマリアーク溶接機1式 (ヘ) 溶接棒乾燥機

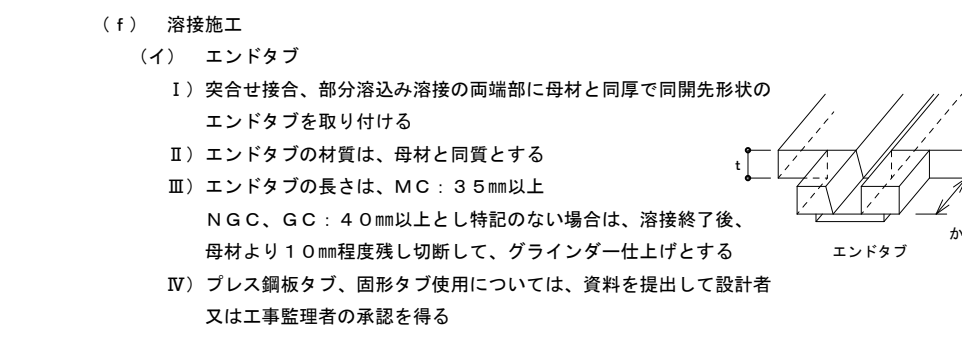
- (c) 溶接方法
 アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
 セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC) アークエアークラウジング(AAG)
 (d) 溶接姿勢



- (e) 仮付溶接工は、原則として工事に従事する者が行う
 (イ) 仮付位置
 仮付溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



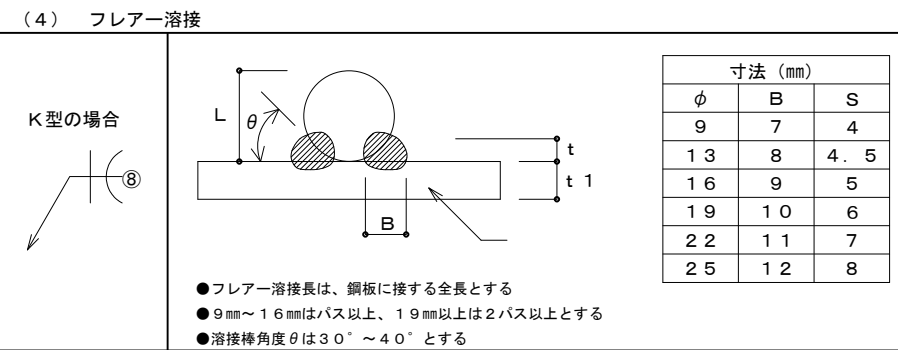
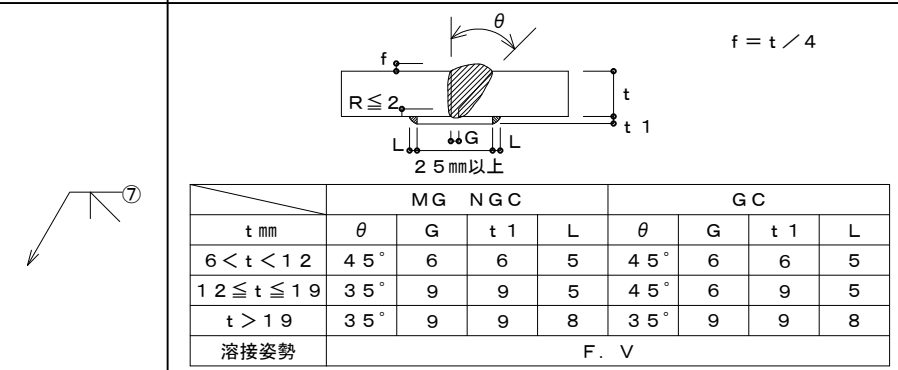
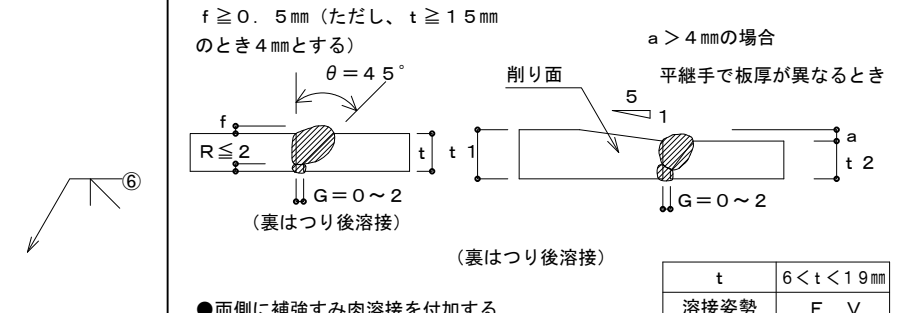
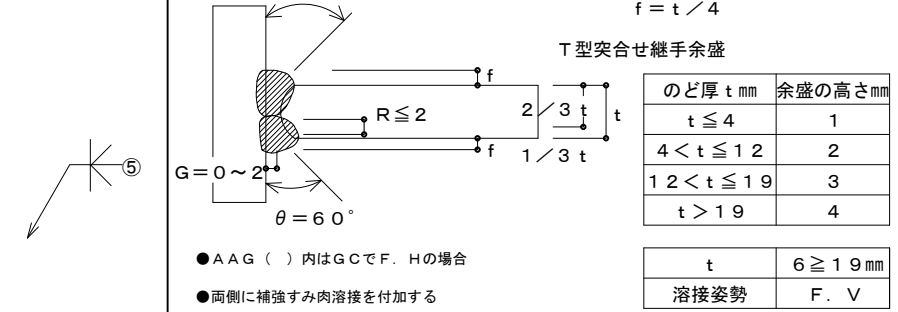
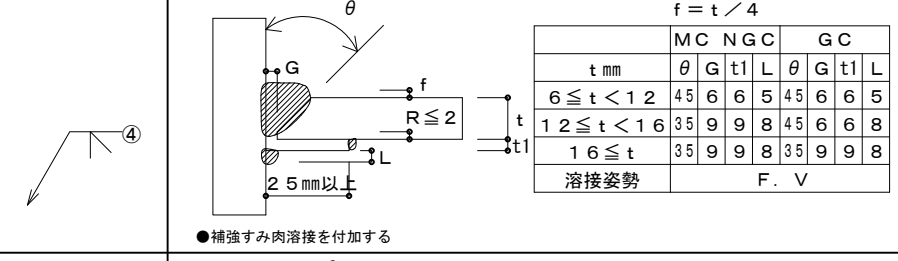
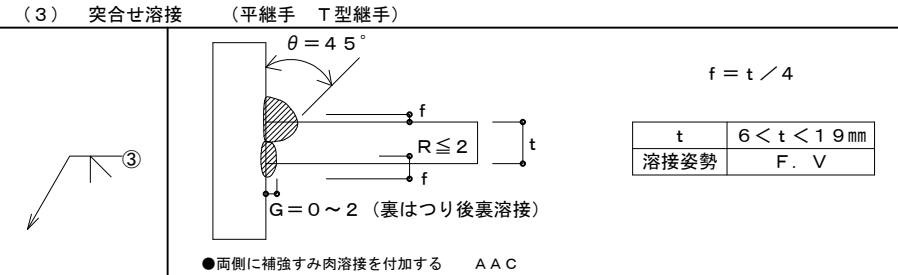
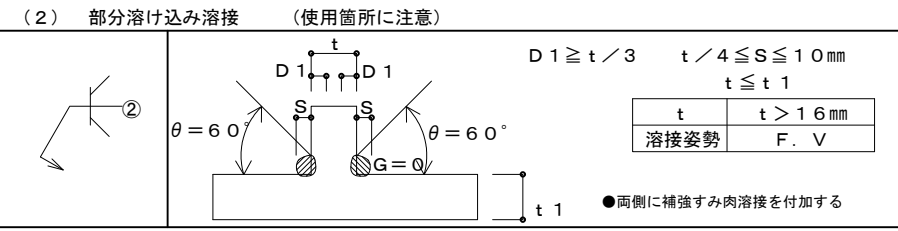
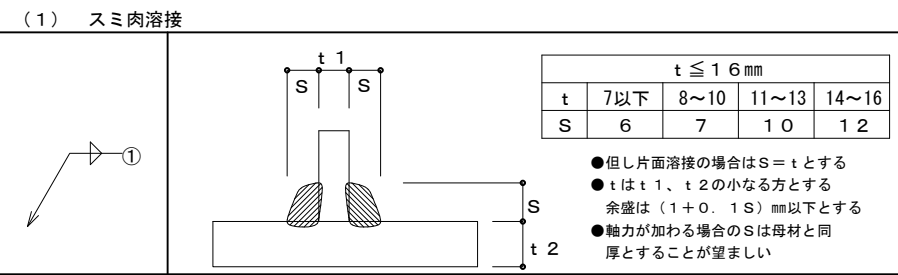
- (ロ) 突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する
 (ハ) 溶接施工
 (イ) エンドタブ
 I) 突合せ接合、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
 II) エンドタブの材質は、母材と同質とする
 III) エンドタブの長さは、MG: 35mm以上 NGC, GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
 IV) プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監督者の承認を得る



- (ロ) 裏あて金
 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上とする
 (ハ) スカーラップ 半径は30~35mmとする
 (ニ) 裏はつり
 規準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監督者の確認を履行し、部材に確認マークをつける
 (ホ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先面をいためない様に、養生を行なう

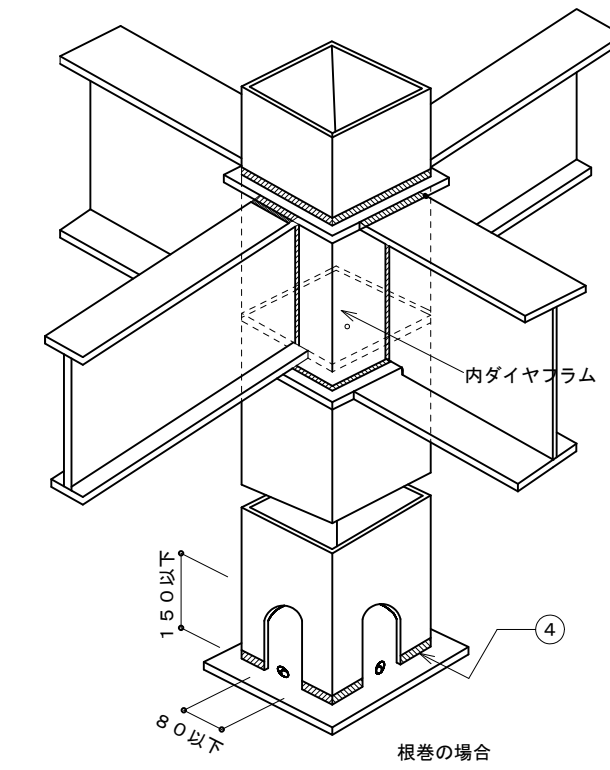
- (5) 塗装
 コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2. 溶接標準図 (注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位mm)

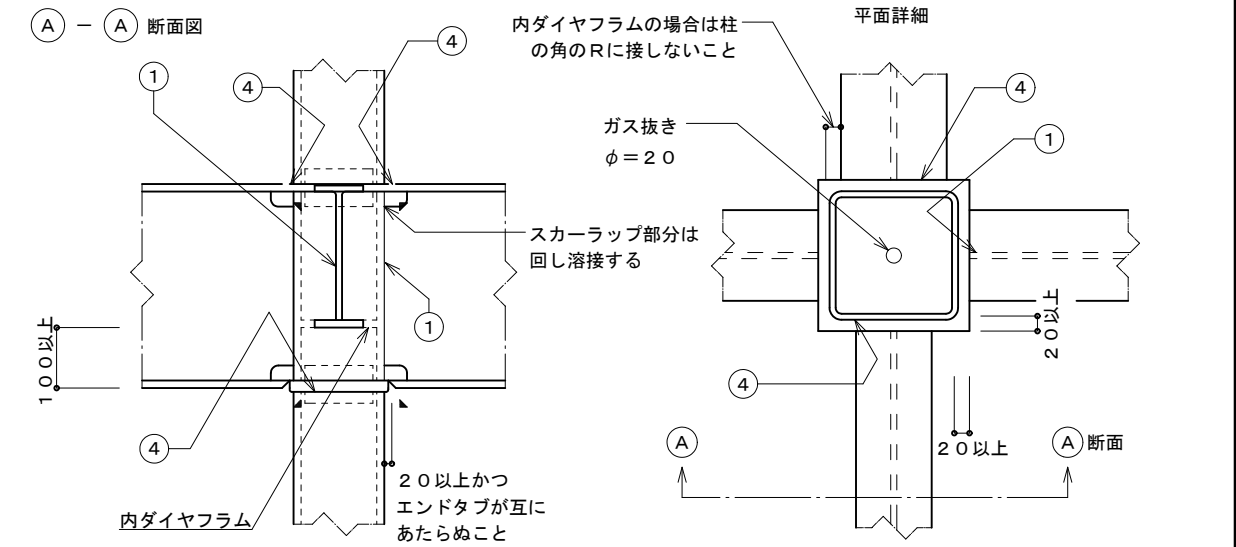
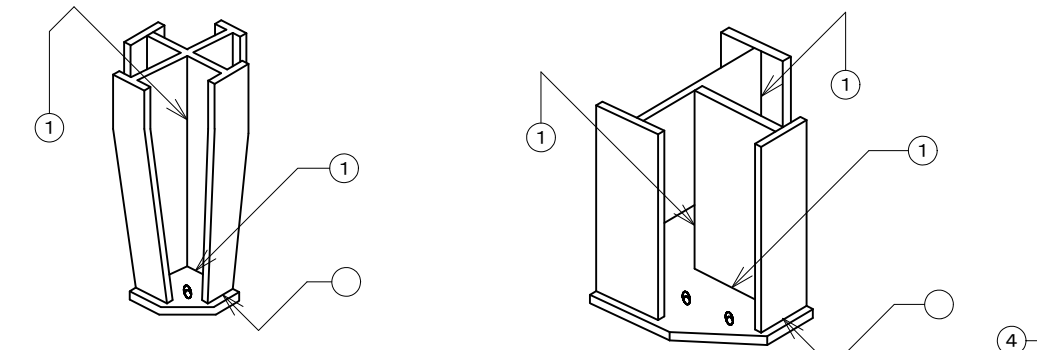
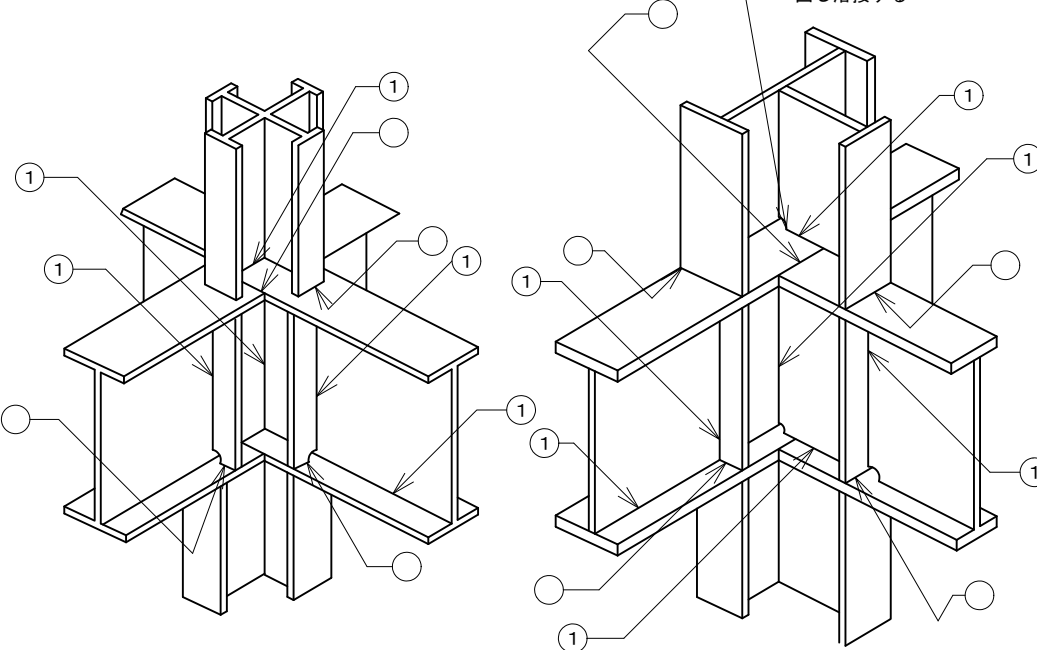


○溶接記号番号を○中に記入のこと

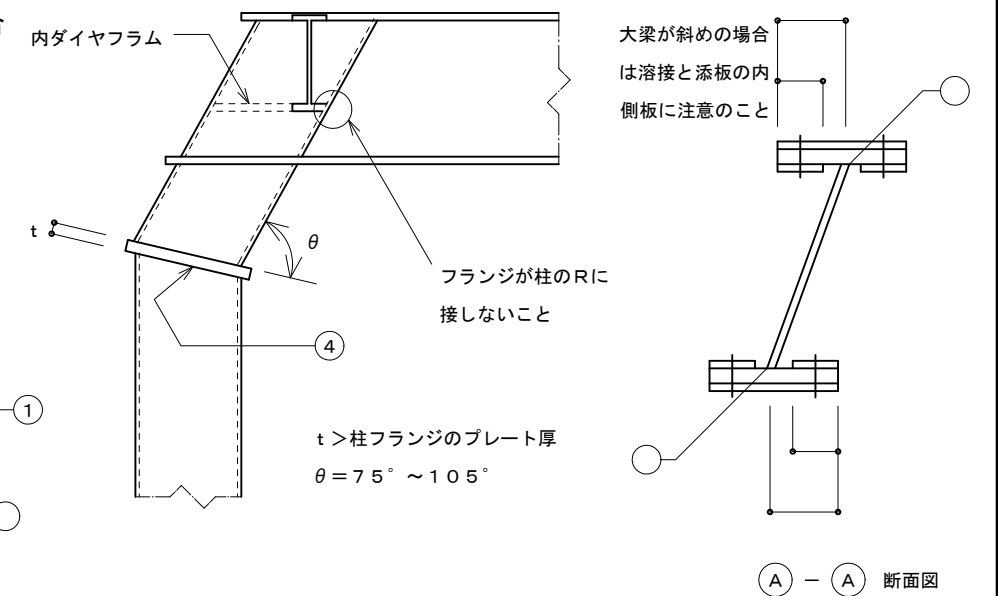
●ボックス型 (通しダイヤフラムの場合)



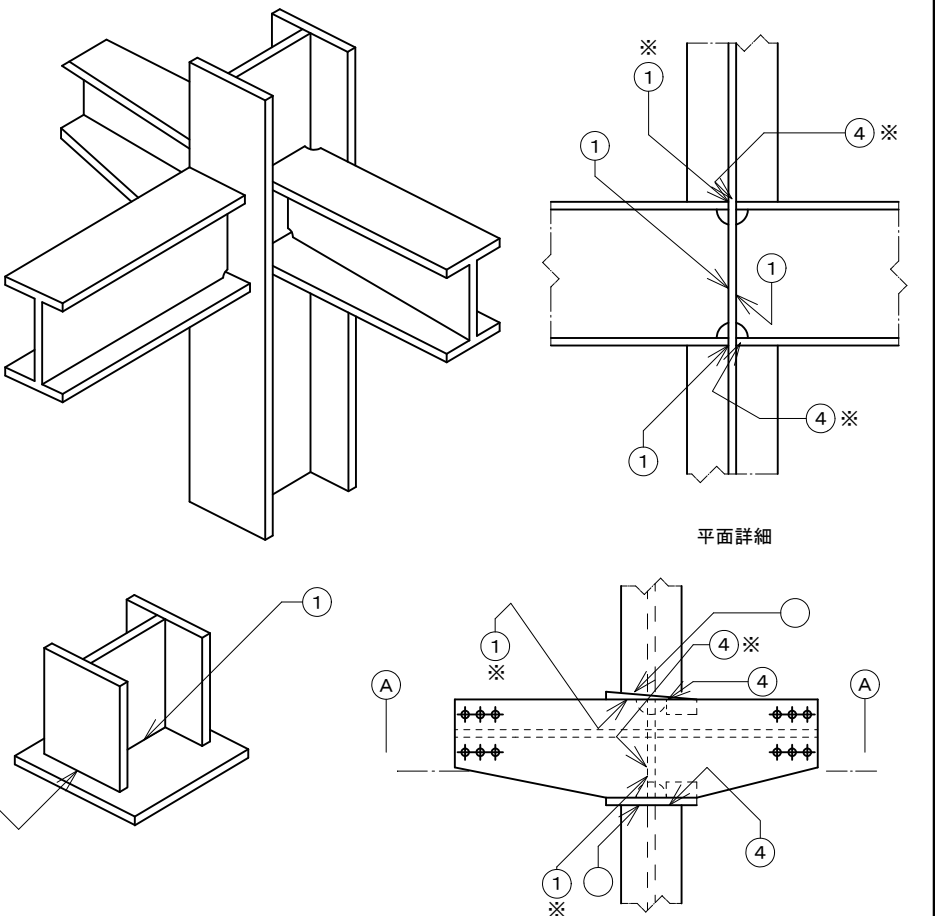
●H, I, H型



●柱が途中で折れる場合
 及梁成が異なる場合



●B. H方式



記事

NOZOE-Architects
 有限会社 野添設計
 一級建築士事務所 宮崎県知事登録 第B-5666号

管理建築士 野添勝久
 一級建築士大臣登録 第110692号
 TEL 0983-27-1018

承認 野添勝久
 担当 野添勝久
 製図 野添勝久

工事名称
 香川ランテグループ第3農場II期建設工事
 図面内容 ■鶏舎

縮尺
 A2 NO SCALE
 A3 NO SCALE

図面No.
 【構造】
 S-102

鉄骨構造標準図(2)

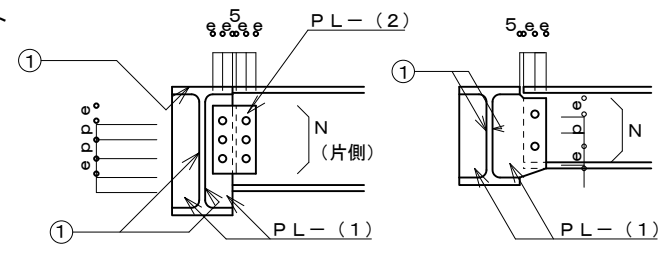
3. 継手標準図、その他

(1) ボルトピッチ(P)、ボルト穴径・最小縁端距離 (mm)

呼び	ボルト穴径	最小縁端距離(e)			ピッチ(P)	
		(1)	(2)	(3)	最小	標準
M16	17.0	40	28	22	40	60
M20	21.5	50	34	26	50	60
M22	23.5	55	38	28	55	60
M24	23.5	60	44	30	60	70

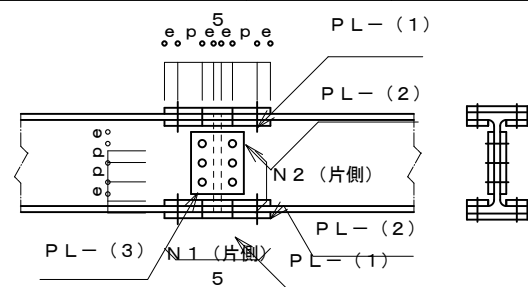
- (注) (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の縁端距離
 (2) せん断線・手動ガス切断線の場合の縁端距離
 (3) 圧延線・自動ガス切断線・のこ引き線・機械仕上線の場合の縁端距離

(2) ピン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部材	PL-(1)		PL-(2)		N-径
			PL-(1)	PL-(2)	PL-(1)	PL-(2)	
継手詳細図参照							

(3) 剛接合継手リスト

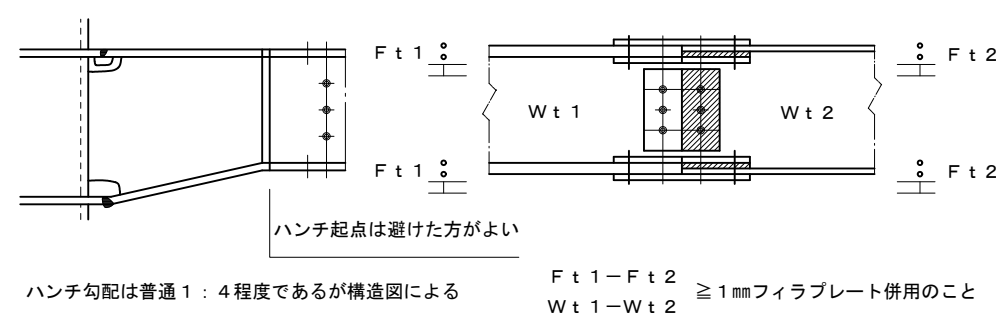


(注) 端部をBHとする場合の部材は設計図による

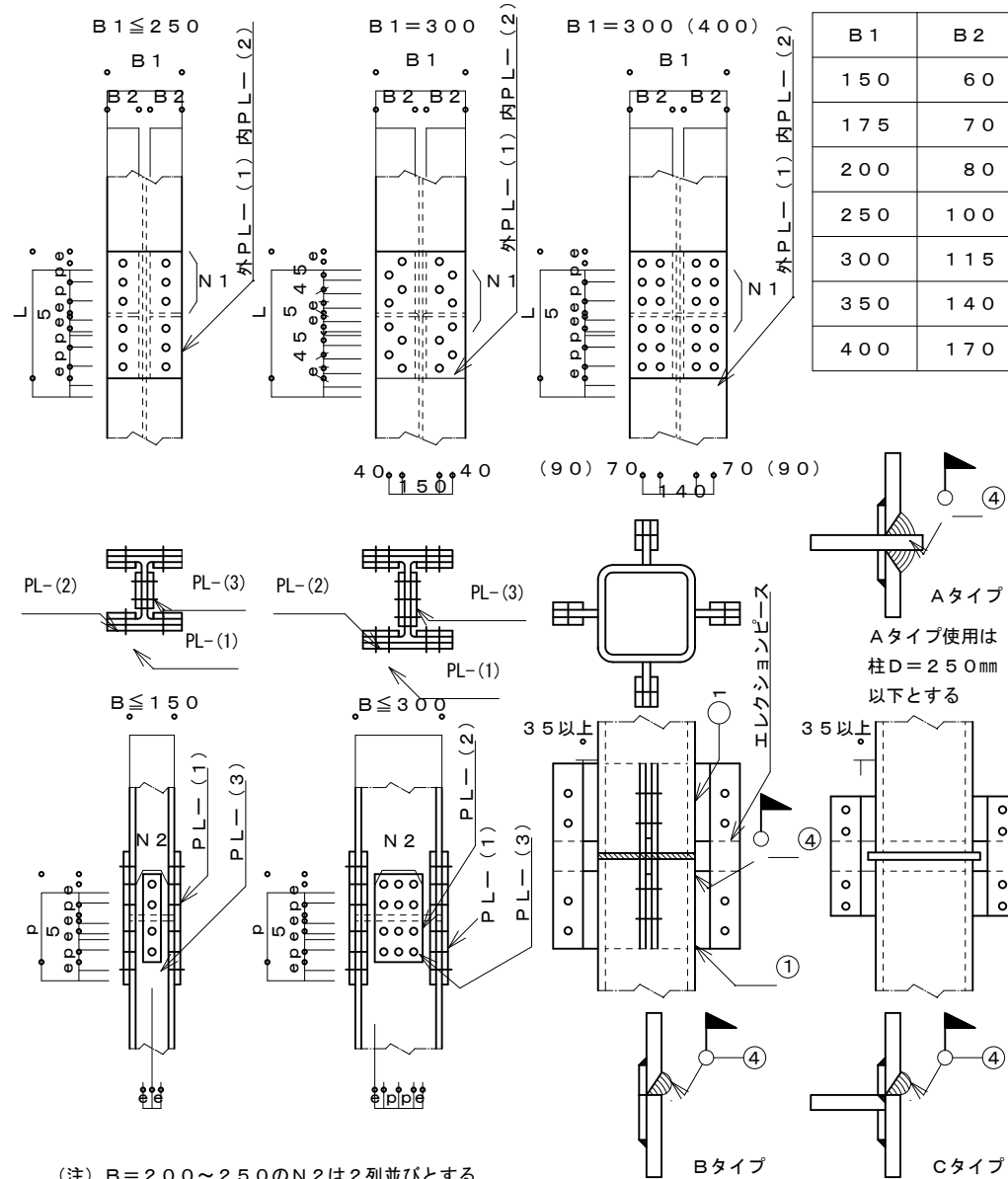
符号	部材	フランジ		ウェブ		
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径
継手詳細図参照						

(4) ハンチ部の継手

フランジ及ウェブ厚の差のある場合



(5) 柱継手リスト



(注) B=200~250のN2は2列並びとする
 (注) 現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%を行う

符号	部材	フランジ		ウェブ		
		PL-(1)	PL-(2)	N1-径	PL-(3)	N2-径
継手詳細図参照						

(6) 鉄筋ブレース (JIS規格品とする...JISA5540~5542...1982)

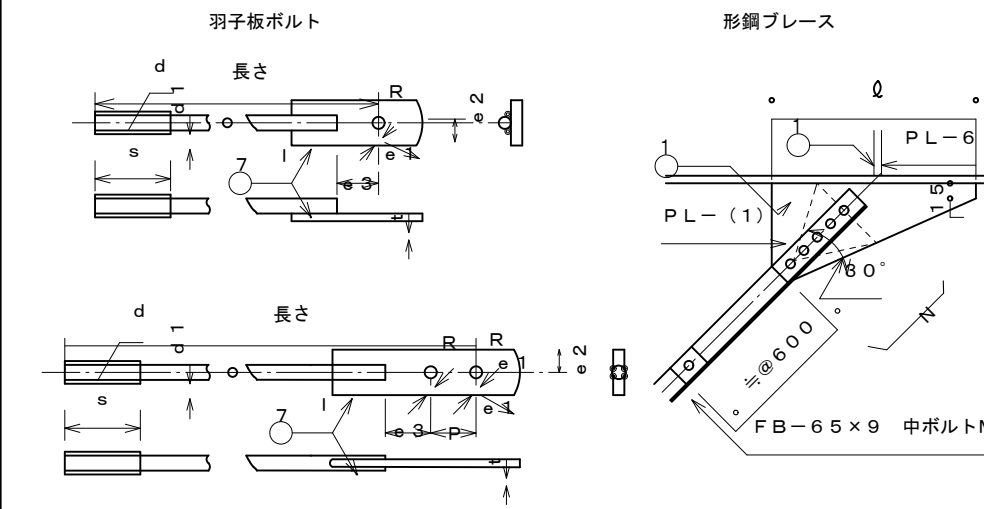
(a) 羽子板ボルト

ねじの呼び(d)	軸径d1	調整ねじの長さS	取付ボルト穴径R	ねじの呼び(d)									
				M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24			
最大	10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99						
最小	10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77						
許容差±0.5mmはしあき(最小)				35	40	45	50	50	55	50			
切板製	へりあき(最小)	(1) e1	e2	22	28	28	34	34	38	38			
切鋼製	板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9	9			
	へりあき(最小)	(1) e2	19	25	25	32.5	32.5	37.5	37.5				
	板厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9				
	ボルト端から取付ボルト穴心のあき(最小)	e3	47	52	59	66	66	73	70				
	溶接長さ(最小)	l	40	50	55	60	75	85	85				
(2) 取付ボルト	種類	JIS B 1186 2種高力ボルト(F10)又は JIS B 1180 中8g10.9											
	ねじの呼び	M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20					
	本数	1	1	1	1	1	1	1	2				

- (注) (1) e1, e2が確保されていれば形状は自由でよい
 (2) 羽子板とカセットプレートの接合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする

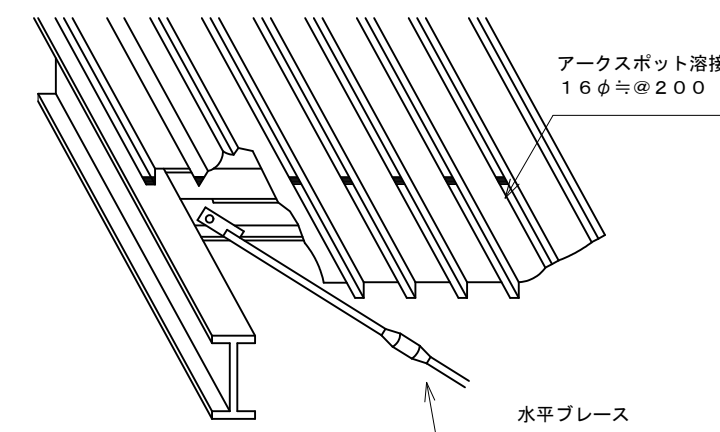
ブレースリスト

符号	部材	PL-(1)	N-径	l

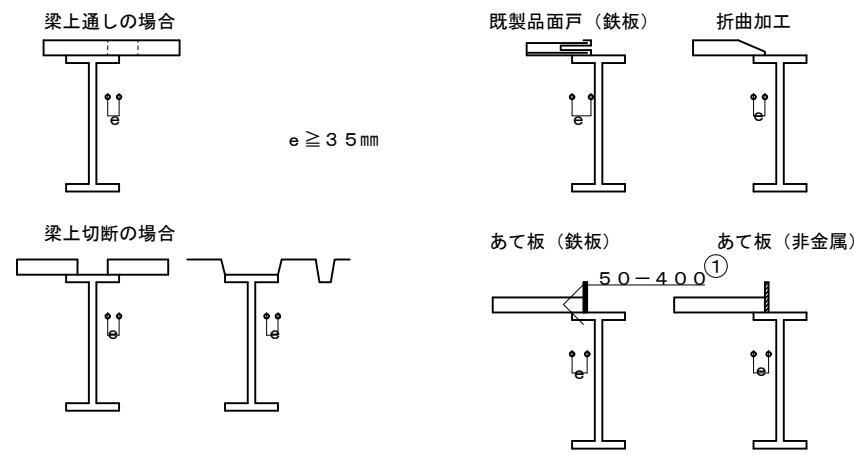


(7) デッキプレート (床剛性を考慮する合成床、合成梁のときは構造図参照)

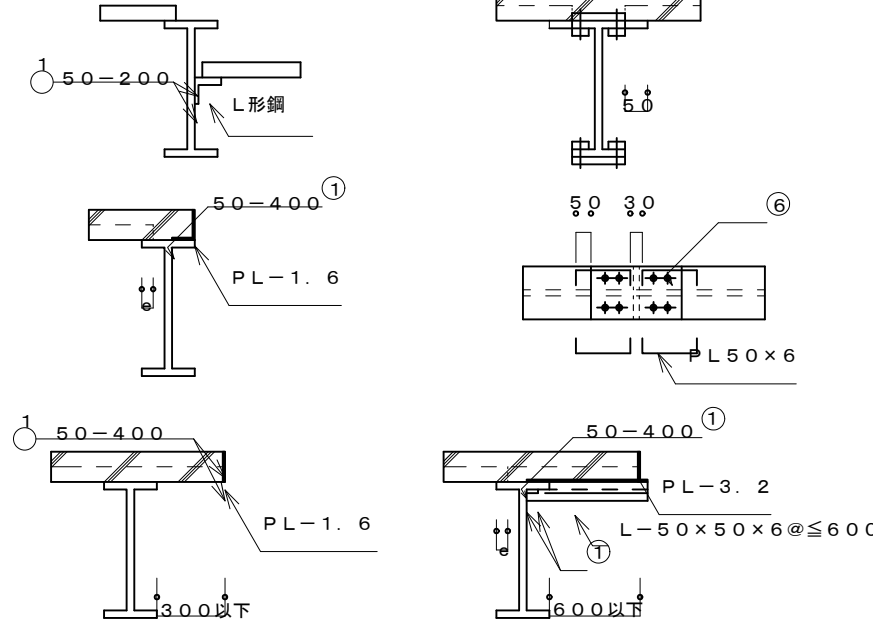
梁との溶接およびコネクター



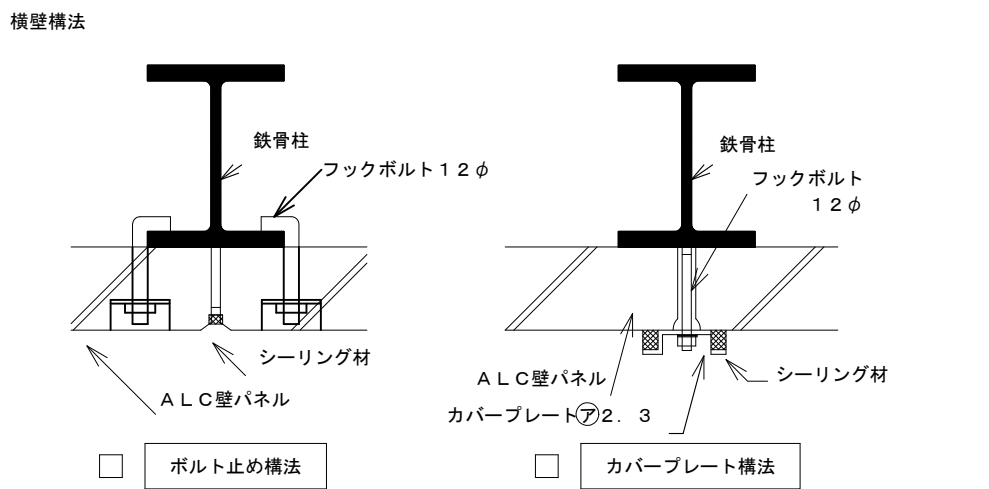
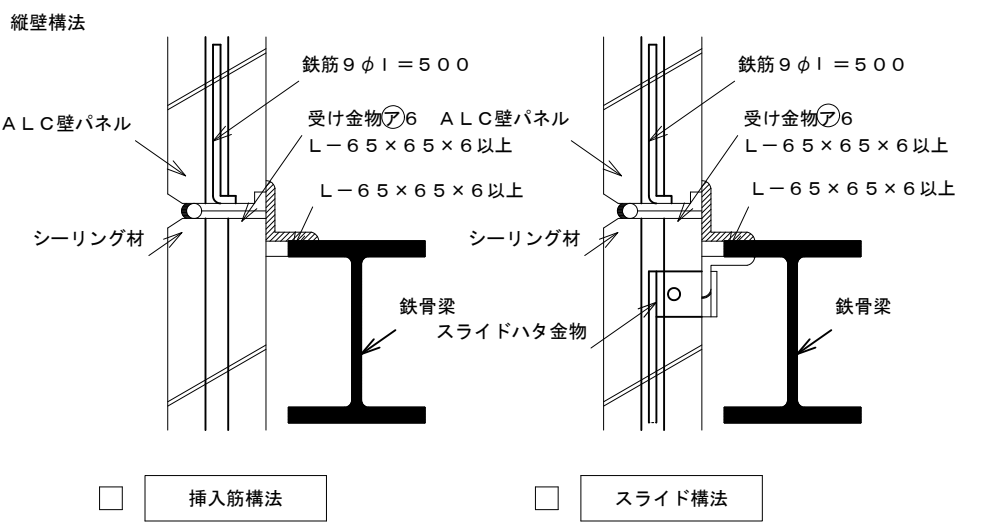
受梁へのかり寸法および端部処理



スラブ端部の補足材



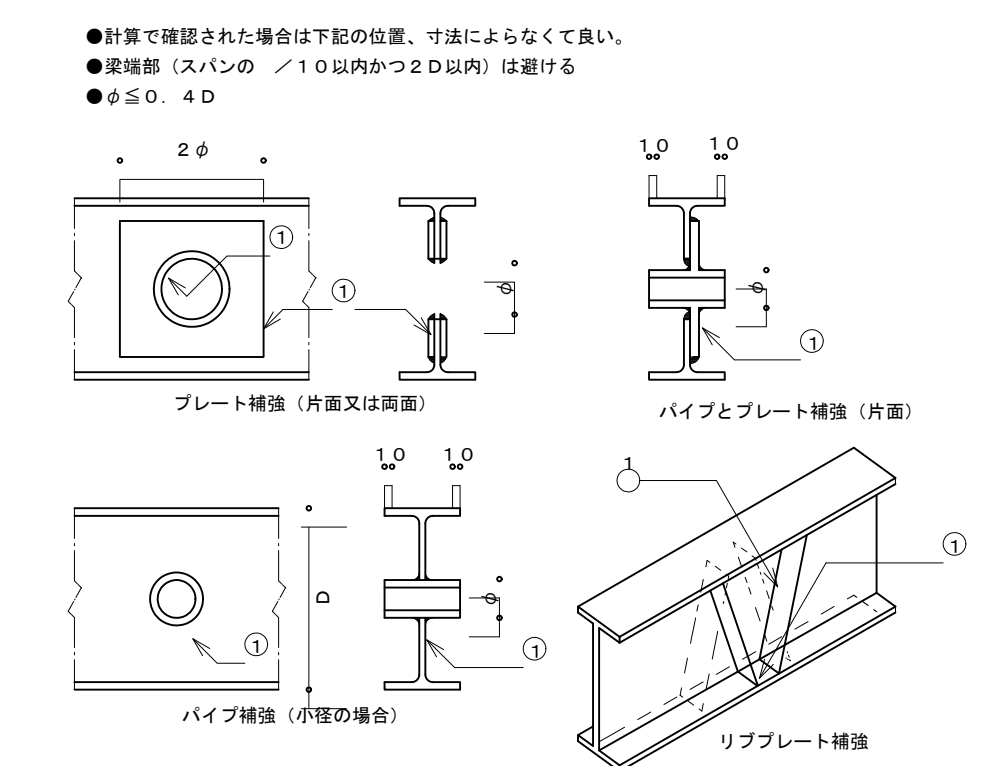
(8) ALC板取付要領



(9) 頭付きスタッド (JIS1198)

形状	呼び名	スタッド材			
		軸径d mm	頭径D mm	頭高さT mm	溶接後の長さL mm
φ13mm		13.0	22.0	10.0	50, 80, 100, 130
		12.7	25.4	7.9	
φ16mm		16.0	29.0	10.0	80, 100, 130
		15.8	31.7	7.9	
φ19mm		19.0	32.0	10.0	80, 100, 130, 150
		19.0	31.7	9.5	
φ22mm		22.0	35.0	10.0	100, 130, 150
		22.2	34.9	9.5	

(10) 梁貫通補強



(11) その他

記事

NOZOE-Architects
 有限会社 野添設計
 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第B-5666号

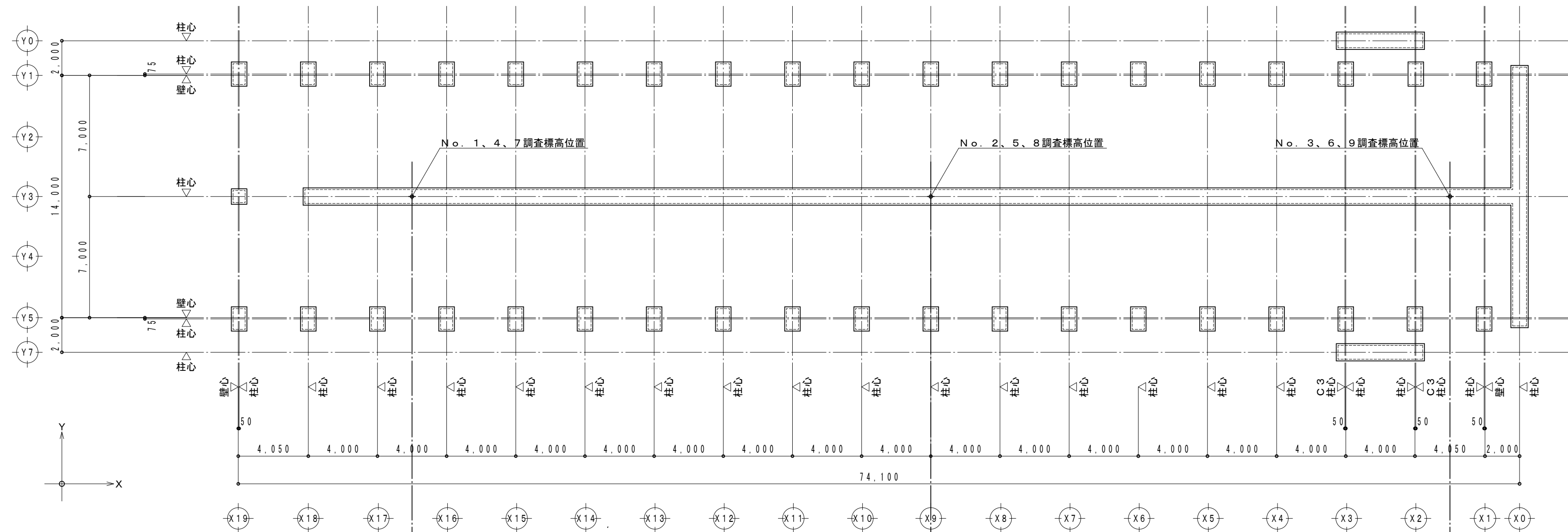
管理建築士 野添 勝久
 一級建築士大臣登録 第110692号
 TEL 0983-27-1018

承認 野添勝久
 担当 野添勝久
 製図 野添勝久

工事名称
 香川ランテグループ第3農場II期建設工事
 図面内容 ■ 鶏舎

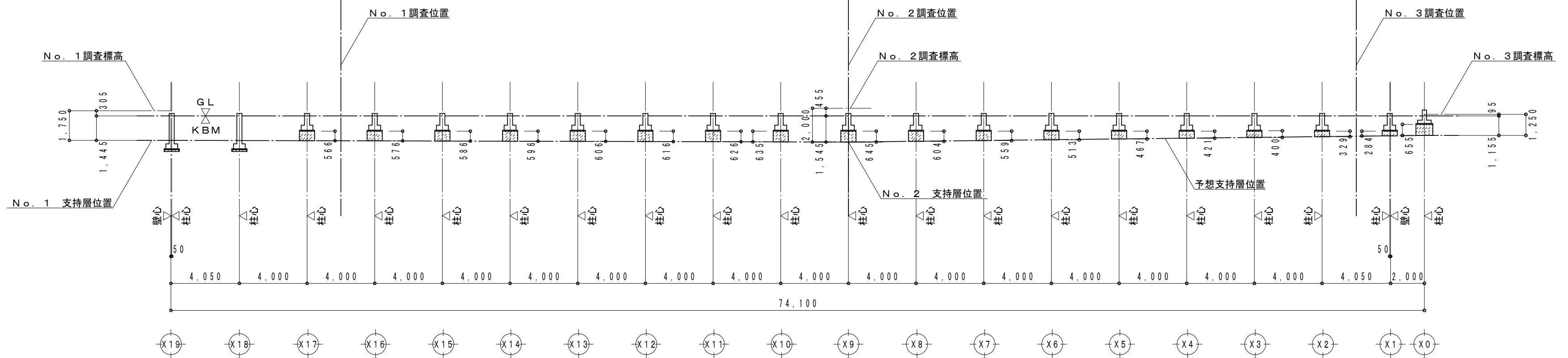
縮尺
 A2 NO SCALE
 A3 NO SCALE

図面No.
 【構造】
 S-103



地盤改良伏図 1 : 200

- 凡例
 特記無き限り
 1、地盤改良寸法は 基礎寸法+200mm (片側100mm) とする
 2、地盤改良は 砕石置換とし十分に転圧する事
 3、地盤改良は 支持層まで到達させる事
 4、支持層は 砂質土とし現場にて確認する事



4号棟地盤改良断面図 1 : 200

- 凡例
 特記無き限り
 1、地盤改良寸法は 基礎寸法+200mm (片側100mm) とする
 2、地盤改良は 砕石置換とし十分に転圧する事
 3、地盤改良は 支持層まで到達させる事
 4、支持層は 砂質土とし現場にて確認する事

記事

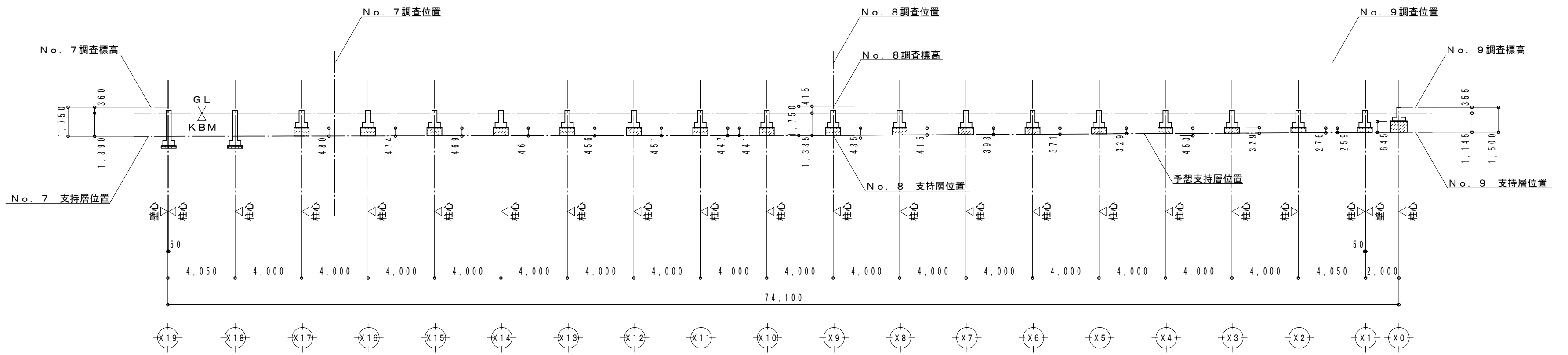
NOZOE-Architects
 有限会社 野添 設計
 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第B-5666号

管理建築士 野添 勝久
 一級建築士大臣登録 第110692号
 TEL 0983-27-1018

承認 野添勝久
 担当 野添勝久
 製図 野添勝久

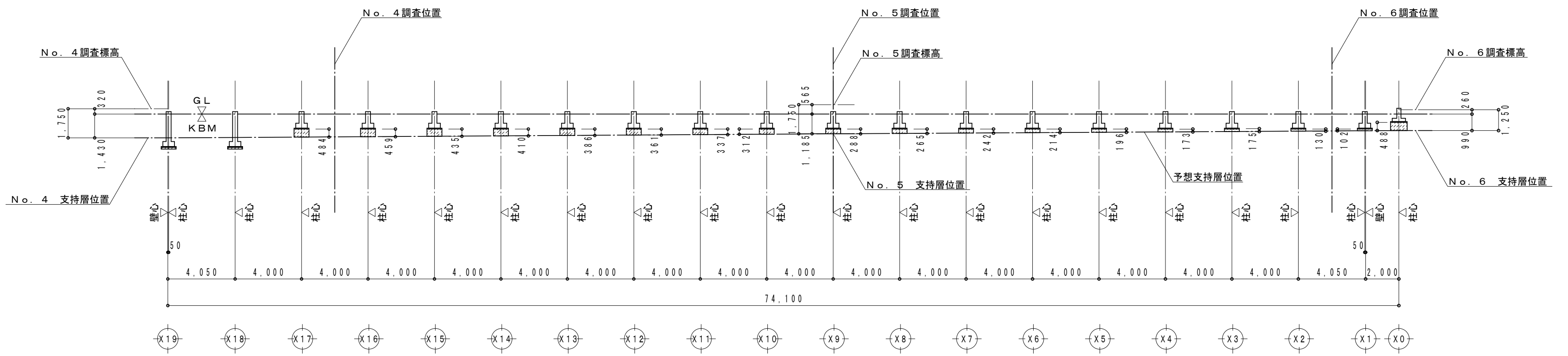
工事名称 香川ランテグループ第3農場Ⅱ期建設工事
 図面内容 ■鶏舎
 地盤改良伏図・4号棟地盤改良断面図

縮尺 A2 1/200
 A3 1/282
 図面No. 【構造】 S-104



6号棟地盤改良断面図 1 : 200

- 凡例
 特記無き限り
 1、地盤改良寸法は 基礎寸法+200mm (片側100mm) とする
 2、地盤改良は 砕石置換とし十分に転圧する事
 3、地盤改良は 支持層まで到達させる事
 4、支持層は 砂質土とし現場にて確認する事



5号棟地盤改良断面図 1 : 200

- 凡例
 特記無き限り
 1、地盤改良寸法は 基礎寸法+200mm (片側100mm) とする
 2、地盤改良は 砕石置換とし十分に転圧する事
 3、地盤改良は 支持層まで到達させる事
 4、支持層は 砂質土とし現場にて確認する事

記事

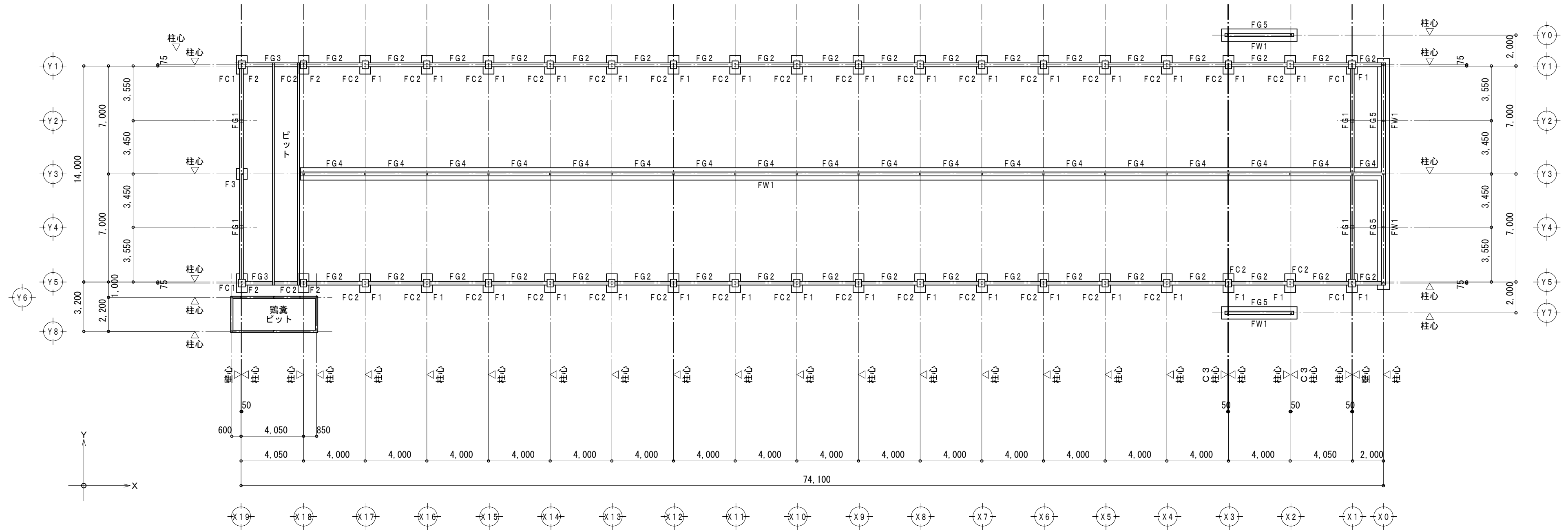
NOZOE-Architects
 有限会社 野添 設計
 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第B-5666号

管理建築士 野添 勝久
 一級建築士大臣登録 第110692号
 TEL 0983-27-1018

承認 野添勝久
 担当 野添勝久
 製図 野添勝久

工事名称 香川ランチグループ第3農場Ⅱ期建設工事
 図面内容 ■鶏舎
 5・6号棟地盤改良断面図

縮尺 A2 1/200
 A3 1/282
 図面No. 【構造】 S-105



基礎伏図 1 : 200

凡例
 特記無き限り
 1. ピット位置は 監理者の承認得る事

共通事項

使用材料	コンクリート JIS A5308 (骨材、水、混和材)	
	基礎・地中梁	$F_c = 21\text{N/mm}^2$ スランブ 18cm
	土間コンクリート	$F_c = 18\text{N/mm}^2$ スランブ 18cm
	捨てコンクリート	$F_c = 18\text{N/mm}^2$ スランブ 8cm
鉄筋	JIS G3112	
	D10~D16	SD295A JIS規格品
	継手は全て重ね継手とする	
基礎	独立基礎+地盤改良(砕石置換)	
	長期許容支持力度 $L_f e = 120\text{kN/m}^2$	
土間コンクリート	厚120	
	配筋 D13@250 シングルクロス	
【鋼材の規格について】	工事にしようする鉄骨・鉄筋はJIS規格品を使用し工事監理者にミルシートを提出の事。	
【コンクリートの塩化物対策について】	施工計画書および施工結果報告書をコンクリート工事着手およびコンクリート工事終了後に工事監理者に提出する事	
【溶接作業について】	1. 鉄骨加工工場のグレードは H・M・R 同等以上とする 2. 建設工事に着手する前に、溶接作業計画書を工事監理者の承認を得て建築主事あて提出の事。	
その他	特記無き項目は[建築工事共通仕様書] (平成25年版)による	

地中梁リスト 1 : 30

特記無き限り 幅止め筋は @1,000とする

符号	FG1	FG2	FG3	FG4	FG5
位置	全断面	全断面	全断面	全断面	全断面
断面					
寸法	250 x 550	250 x 550	250 x 550	250 x 800	250 x 800
上端筋	2+1-D16	2-D13	2+1-D13	2-D13	2-D13
下端筋	2-D16	2-D13	2+1-D13	2-D13	2-D13
STP	2-D10@200	2-D10@200	2-D10@200	2-D10@200	2-D10@200
腹筋	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10	2-D10

記事
 ※4号鶏舎、5号鶏舎、6号鶏舎すべて共通

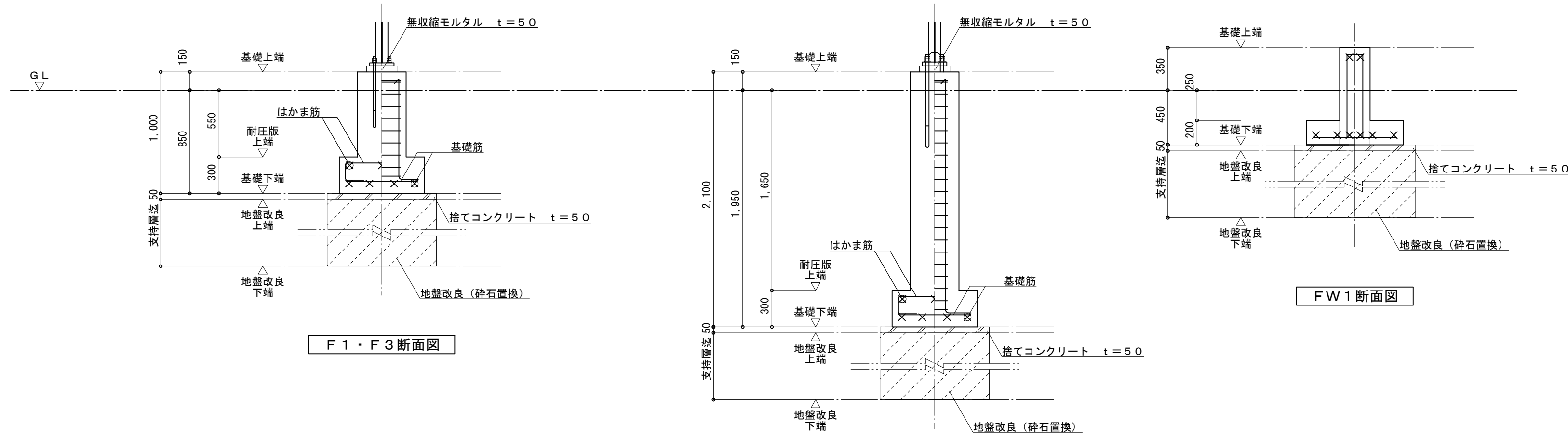
NOZOE-Architects
 株式会社 野添設計
 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第B-5666号

管理建築士 野添勝久
 一級建築士大臣登録 第110692号
 TEL 0983-27-1018

承認 野添勝久
 担当 野添勝久
 製図 野添勝久

工事名称 香川ランテグループ第3農場Ⅱ期建設工事
 図面内容 ■鶏舎
 共通事項・基礎伏図・地中梁リスト

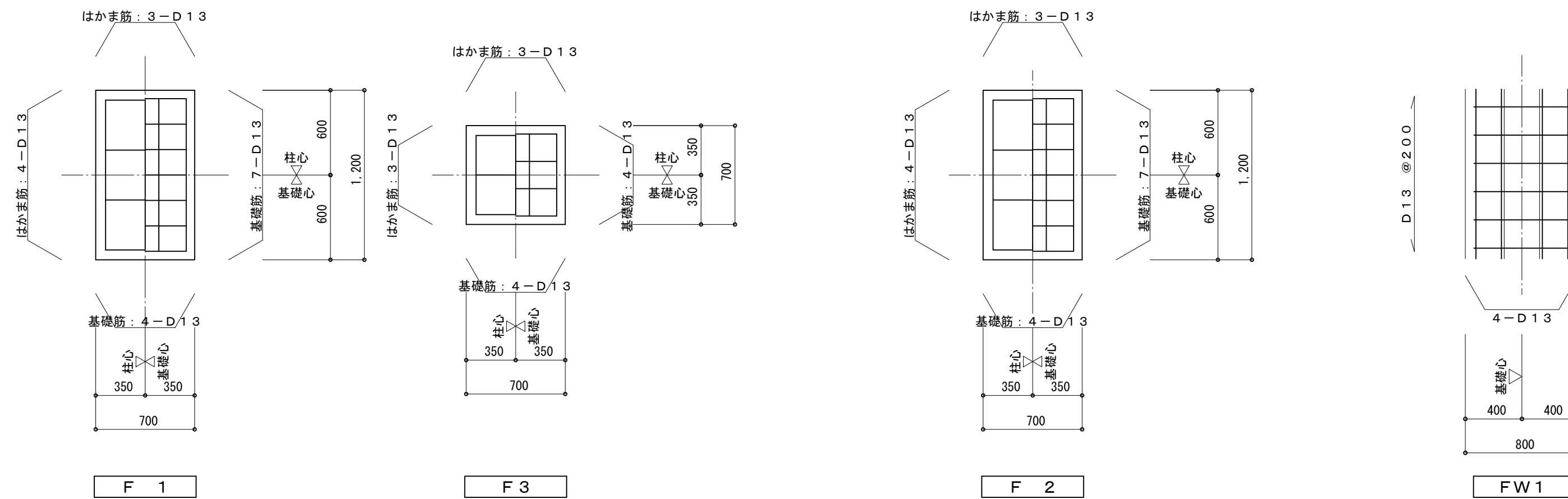
縮尺 A2 1/30、200
 A3 1/43、282
 図面No. 【構造】 S-106



F1・F3 断面図

F2 断面図

FW1 断面図



F 1

F 3

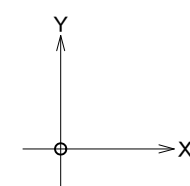
F 2

FW 1

基礎柱リスト 1:30

符号	FC 1
位置	全断面
断面	
B×D	450 × 500
主筋	10-D16
Hoop筋	□-D10@100
備考	1、コーナー頂部はフック付きとする 2、Top. Hoop筋は 2-D13とする
符号	FC 2
位置	全断面
断面	
B×D	400 × 500
主筋	10-D16
Hoop筋	□-D10@100
備考	1、コーナー頂部はフック付きとする 2、Top. Hoop筋は 2-D13とする

基礎詳細図 1:30



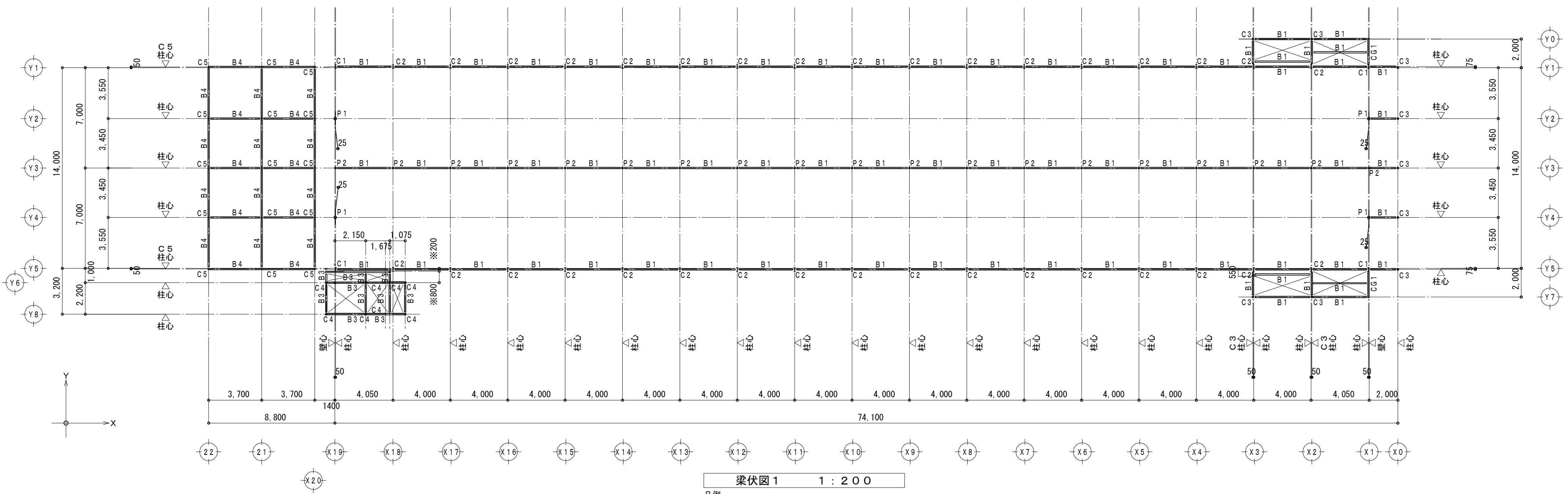
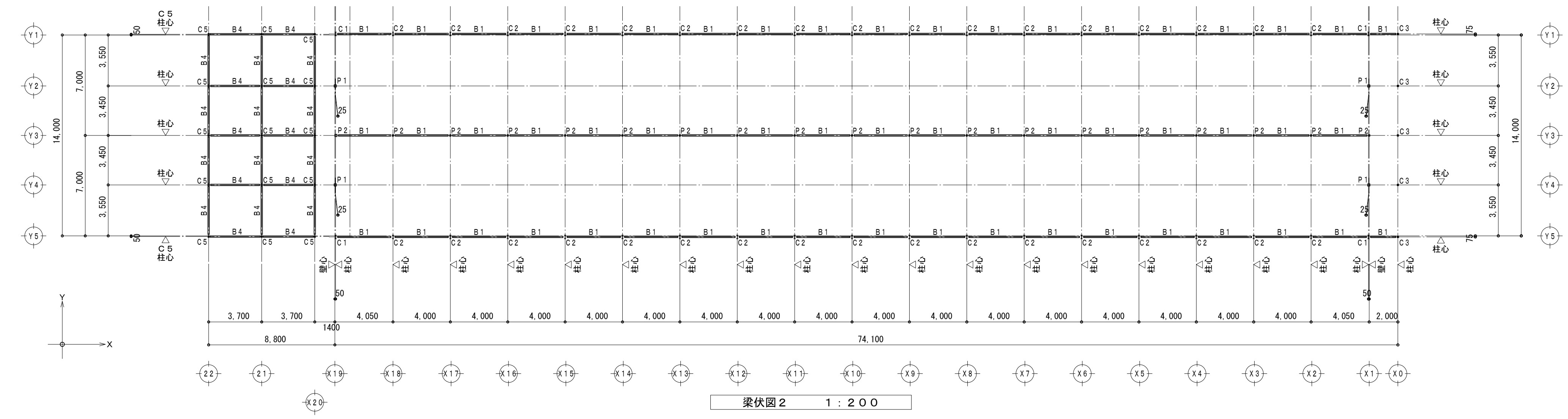
- 凡例
特記無き限り
- 1、地盤改良寸法は 基礎寸法+200mm (片側100mm) とする
 - 2、地盤改良は 砕石置換とし十分に転圧する事
 - 3、地盤改良は 支持層まで到達させる事
 - 4、支持層は 砂質土とし現場にて確認する事

記事
※4号鶏舎、5号鶏舎、6号鶏舎すべて共通

NOZOE-Architects
有限会社 野添 設計
一級建築士事務所宮崎県知事登録 第B-5666号

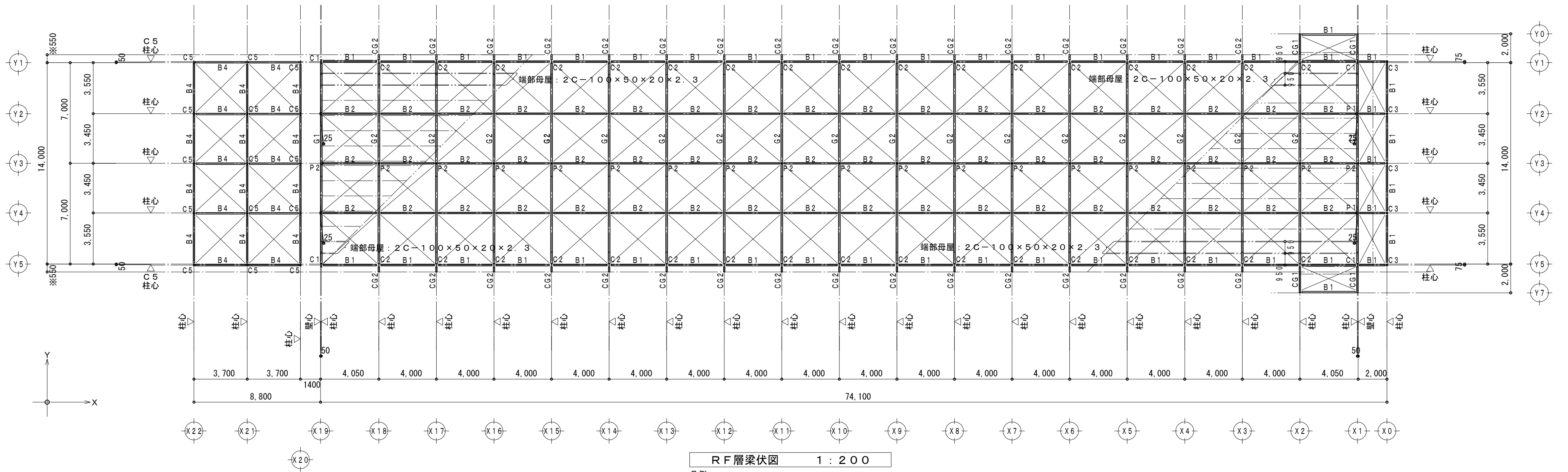
管理建築士 野添 勝久
一級建築士大臣登録 第110692号
TEL 0983-27-1018

承認	野添勝久	工事名称	香川ランチグループ第3農場Ⅱ期建設工事	A2	図面No.
担当	野添勝久	図面内容	■鶏舎	縮尺	1/30
製図	野添勝久	基礎詳細図		A3	【構造】
				1/43	S-107



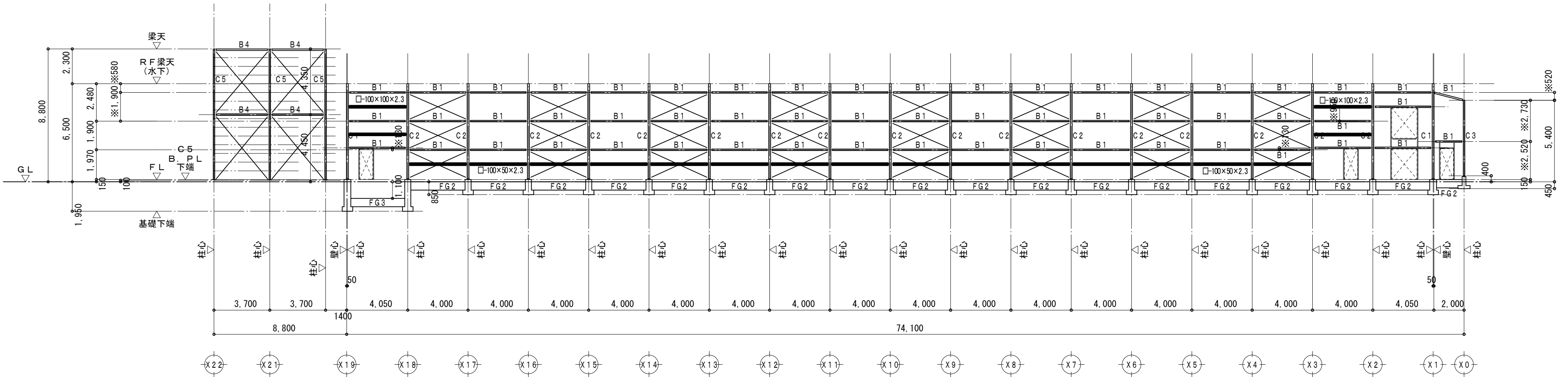
凡例
 特記無き限り
 1、※寸法は 施工図を作成し監理者の承認を得る事

記事 ※4号鶏舎、5号鶏舎、6号鶏舎すべて共通	NOZOE-Architects 有限会社 野添 設計 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第B-5666号	管理建築士 野添 勝久 一級建築士大臣登録 第110692号 TEL 0983-27-1018	承認	野添勝久	工事名称 香川ランテグループ第3農場Ⅱ期建設工事 図面内容 ■ 鶏舎 梁 伏 図 (1)	縮尺 A2 1/200 A3 1/282	図面No. 【構造】 S-108
			担当	野添勝久			
			製図	野添勝久			



RF層梁伏図 1:200

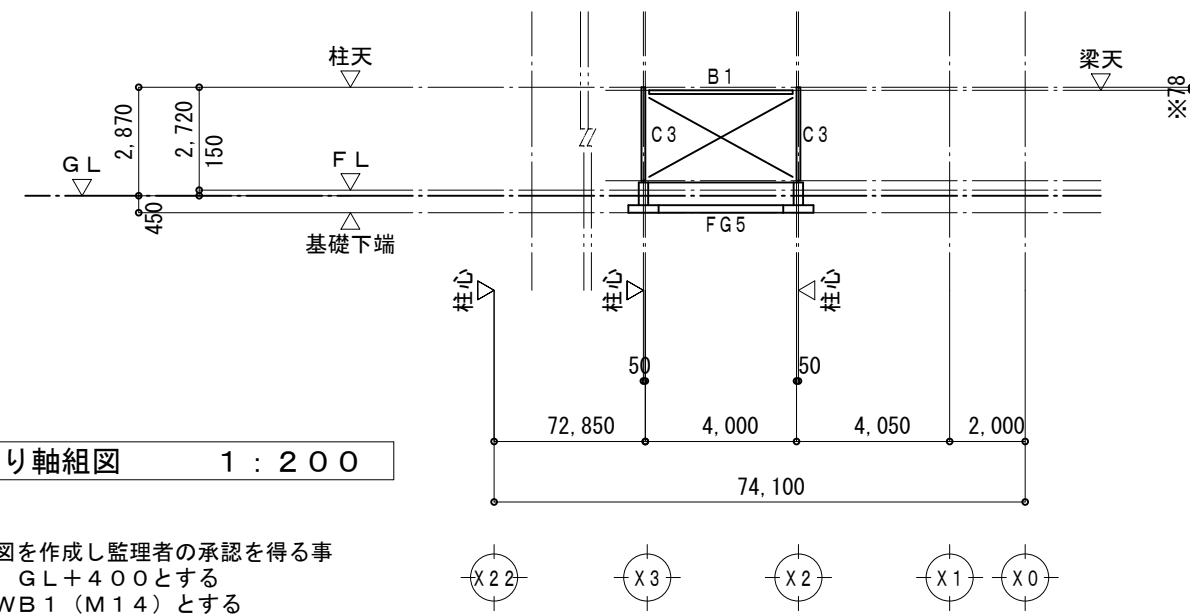
- 凡例
 特記無き限り
 1、---は 母屋配置方向を示す
 2、屋根ブレースは M14とする
 3、G1・G2梁は 端部母屋と方杖材で接合すること
 (詳細は S-114・115に依る)



Y5・Y1通り軸組図 1:200

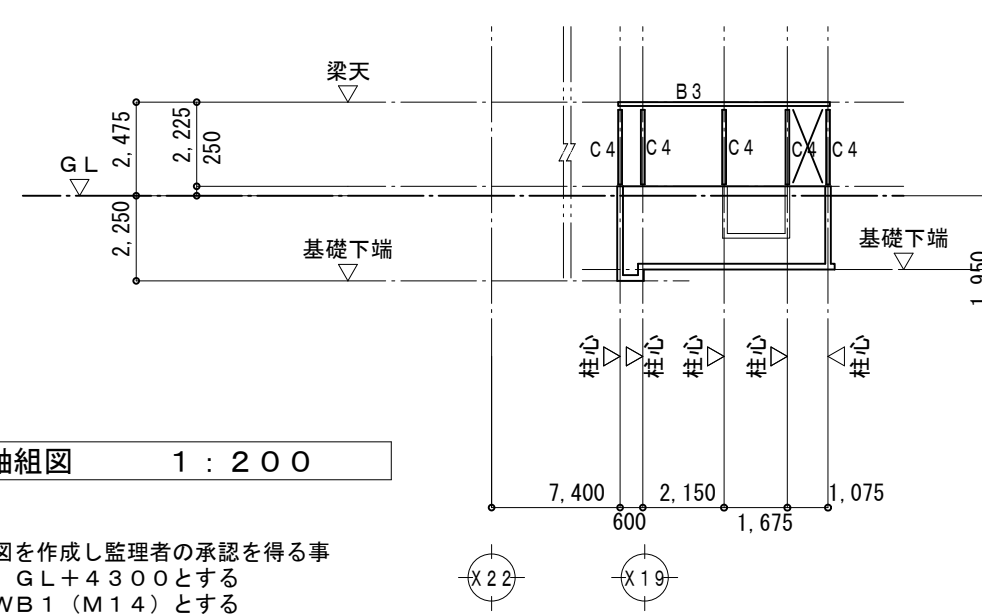
- 凡例
 特記無き限り
 1、※寸法は 施工図を作成し監理者の承認を得る事
 2、B、PL下端は GL+200とする
 3、壁ブレースは WB1 (M14)とする
 4、---は ココ鋼線を示す
 5、開口補強材は C-100x50x20x2.3とする

記事	NOZOE-Architects 有限会社 野添設計 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第B-5666号	管理建築士 野添 勝久 一級建築士大臣登録 第110692号 TEL 0983-27-1018	承認	野添勝久	工事名称 香川ランチグループ第3農場Ⅱ期建設工事 図面内容 ■鶏舎 梁伏図(2)・軸組図(1)	縮尺	A2	1/200	図面No. 【構造】 S-109
			担当	野添勝久			A3		
			製図	野添勝久					



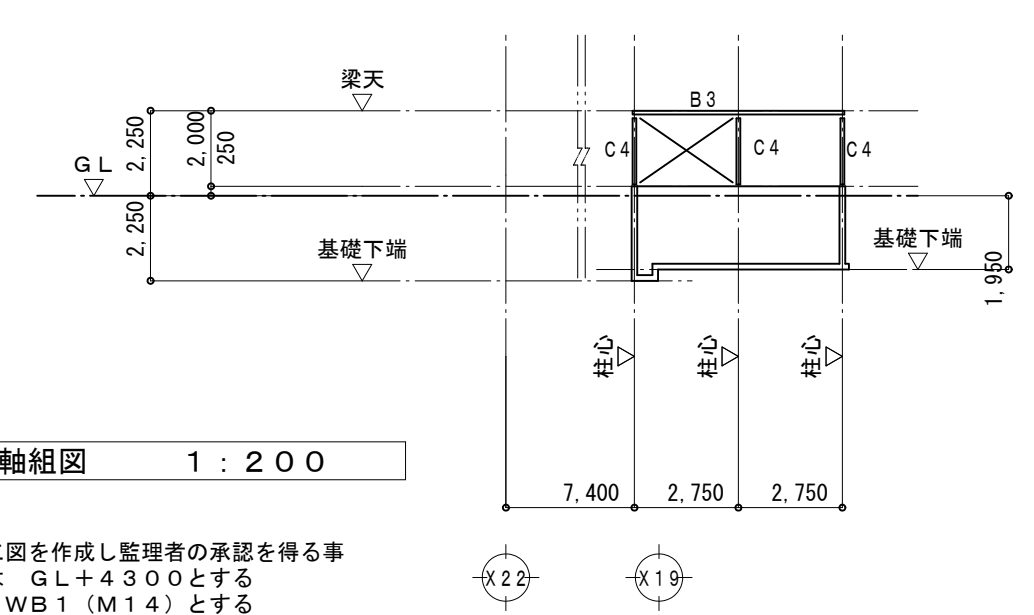
Y7・Y0通り軸組図 1:200

凡例
特記無き限り
1、※寸法は 施工図を作成し監理者の承認を得る事
2、B、PL下端は GL+400とする
3、壁ブレースは WB1 (M14) とする



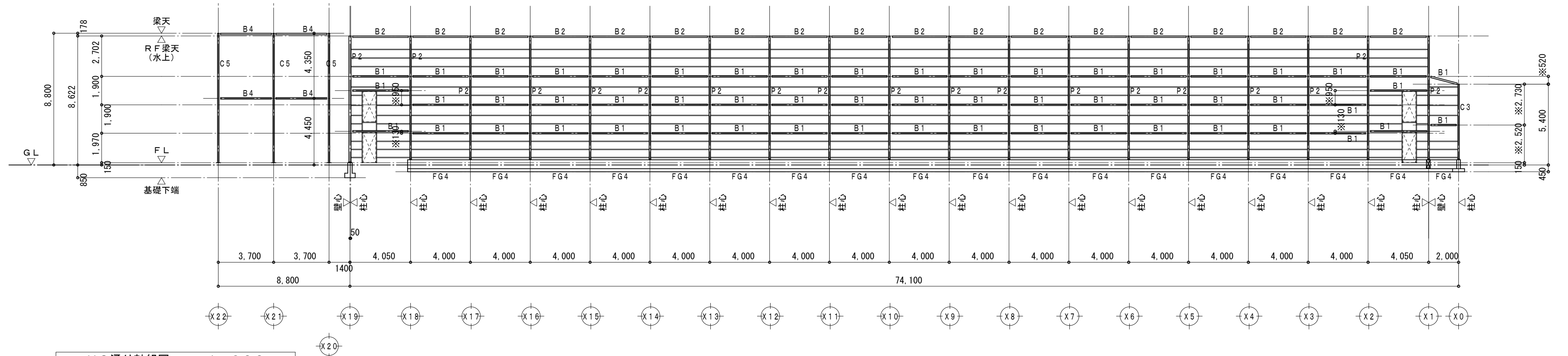
Y6通り軸組図 1:200

凡例
特記無き限り
1、※寸法は 施工図を作成し監理者の承認を得る事
2、B、PL下端は GL+4300とする
3、壁ブレースは WB1 (M14) とする



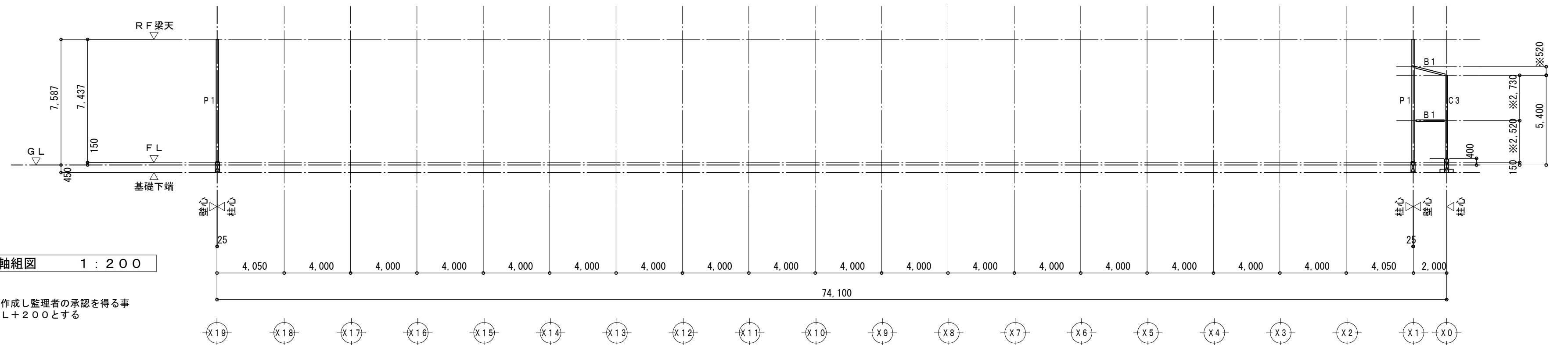
Y8通り軸組図 1:200

凡例
特記無き限り
1、※寸法は 施工図を作成し監理者の承認を得る事
2、B、PL下端は GL+4300とする
3、壁ブレースは WB1 (M14) とする



Y3通り軸組図 1:200

凡例
特記無き限り
1、※寸法は 施工図を作成し監理者の承認を得る事
2、B、PL下端は GL+400とする



Y4・Y2通り軸組図 1:200

凡例
特記無き限り
1、※寸法は 施工図を作成し監理者の承認を得る事
2、B、PL下端は GL+200とする

記事
※4号鶏舎、5号鶏舎、6号鶏舎すべて共通

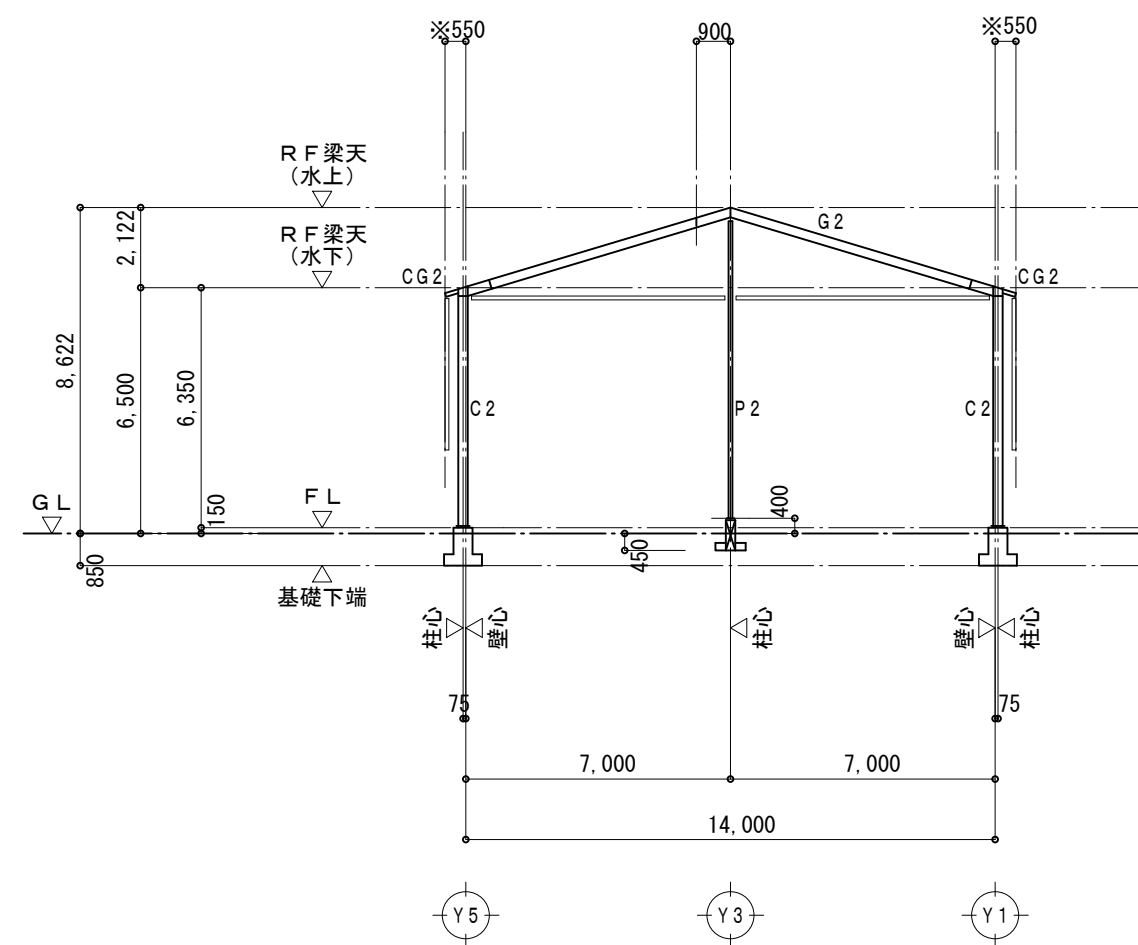
NOZOE-Architects
有限会社 野添設計
一級建築士事務所宮崎県知事登録 第B-5666号

管理建築士 野添勝久
一級建築士大臣登録 第110692号
TEL 0983-27-1018

承認 野添勝久
担当 野添勝久
製図 野添勝久

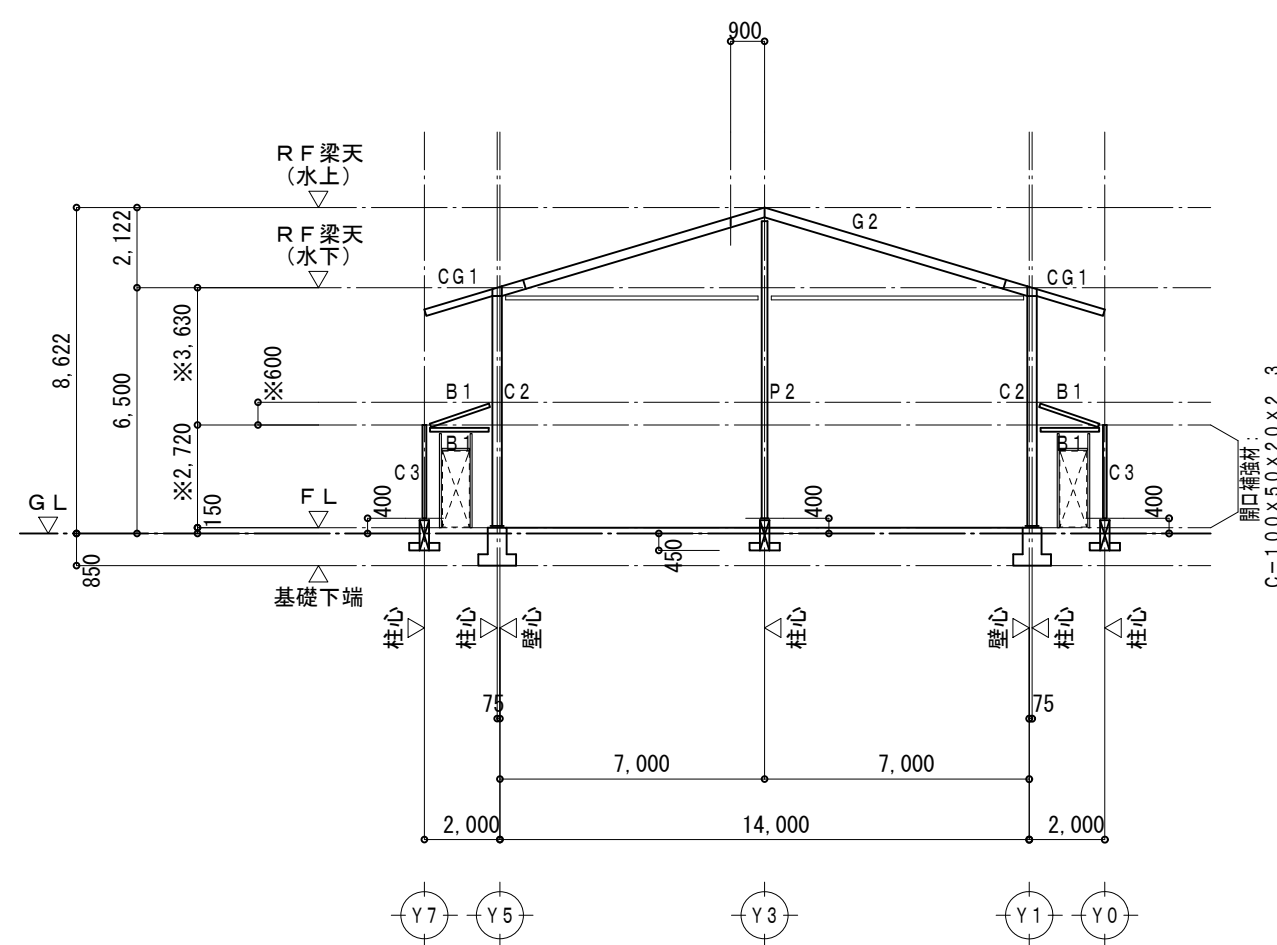
工事名称 香川ランチグループ第3農場Ⅱ期建設工事
図面内容 ■鶏舎
軸組図 (2)

A2 1/200
A3 1/282
縮尺
図面No. 【構造】 S-110



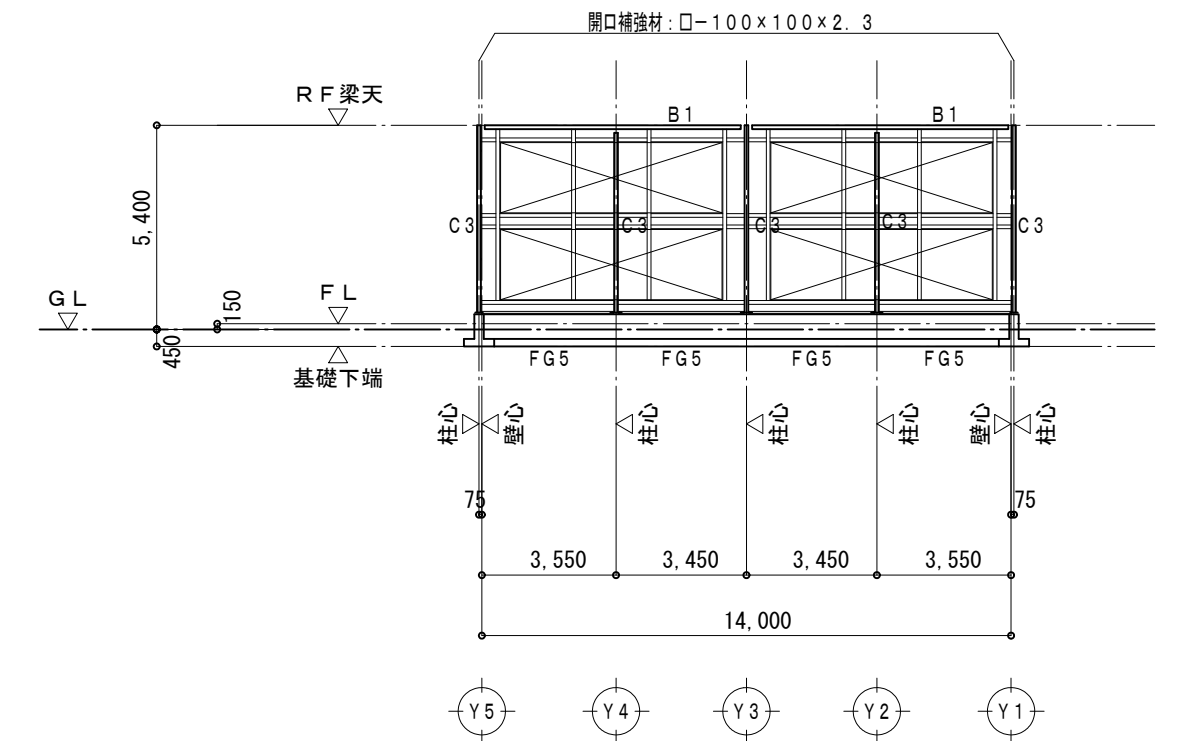
X18~X4通り軸組図 1:200

- 凡例
特記無き限り
1. G梁現場接合部は 柱心より725mmとする
2. 符号がない部材は □-100×100×2.3とする
3. ※寸法は 施工図を作成し監理者の承認を得る事
4. B. PL下端は GL+200とする



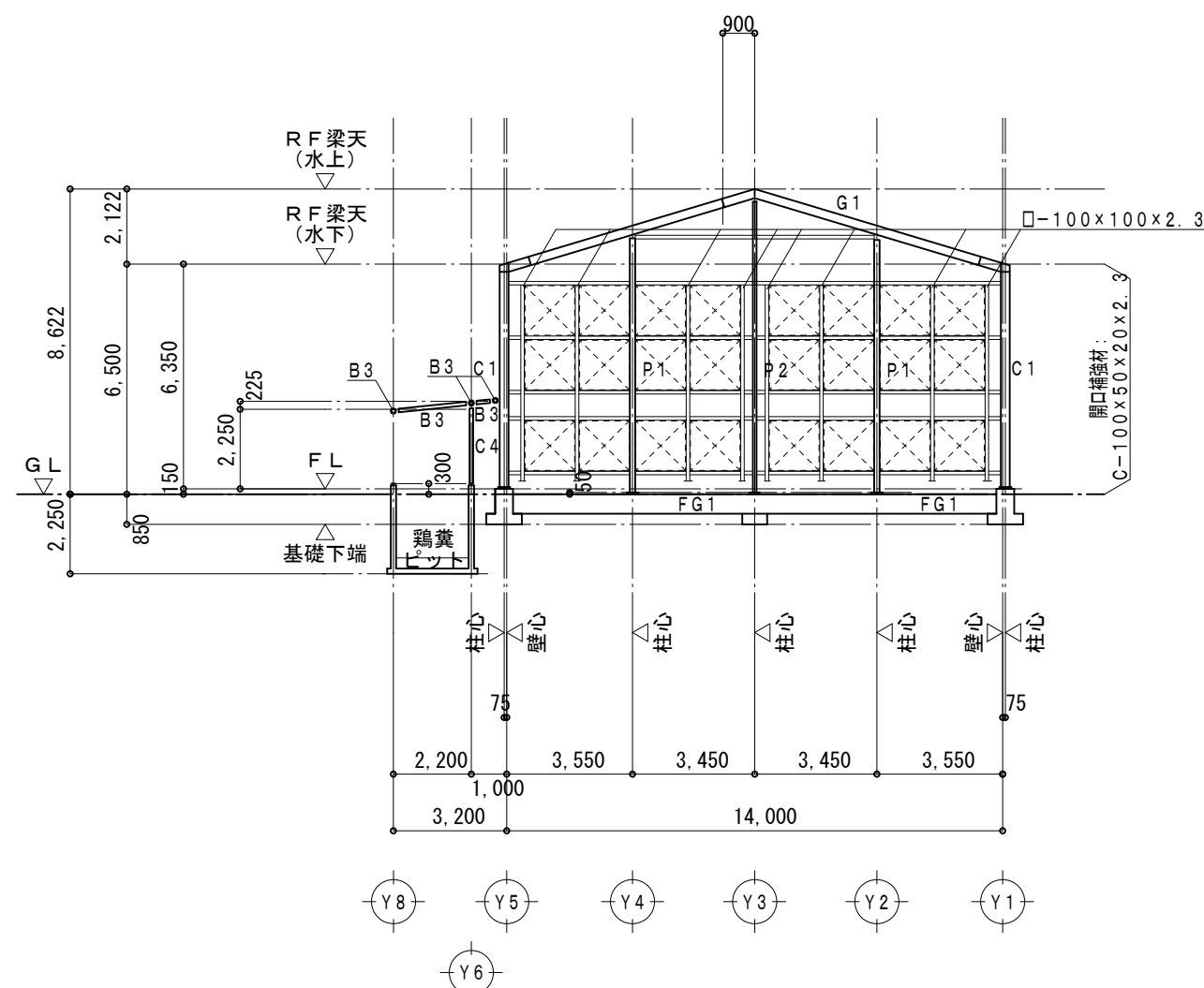
X2通り軸組図 1:200

- 凡例
特記無き限り
1. G梁現場接合部は 柱心より725mmとする
2. 符号がない部材は □-100×100×2.3とする
3. ※寸法は 施工図を作成し監理者の承認を得る事
4. B. PL下端は GL+200とする



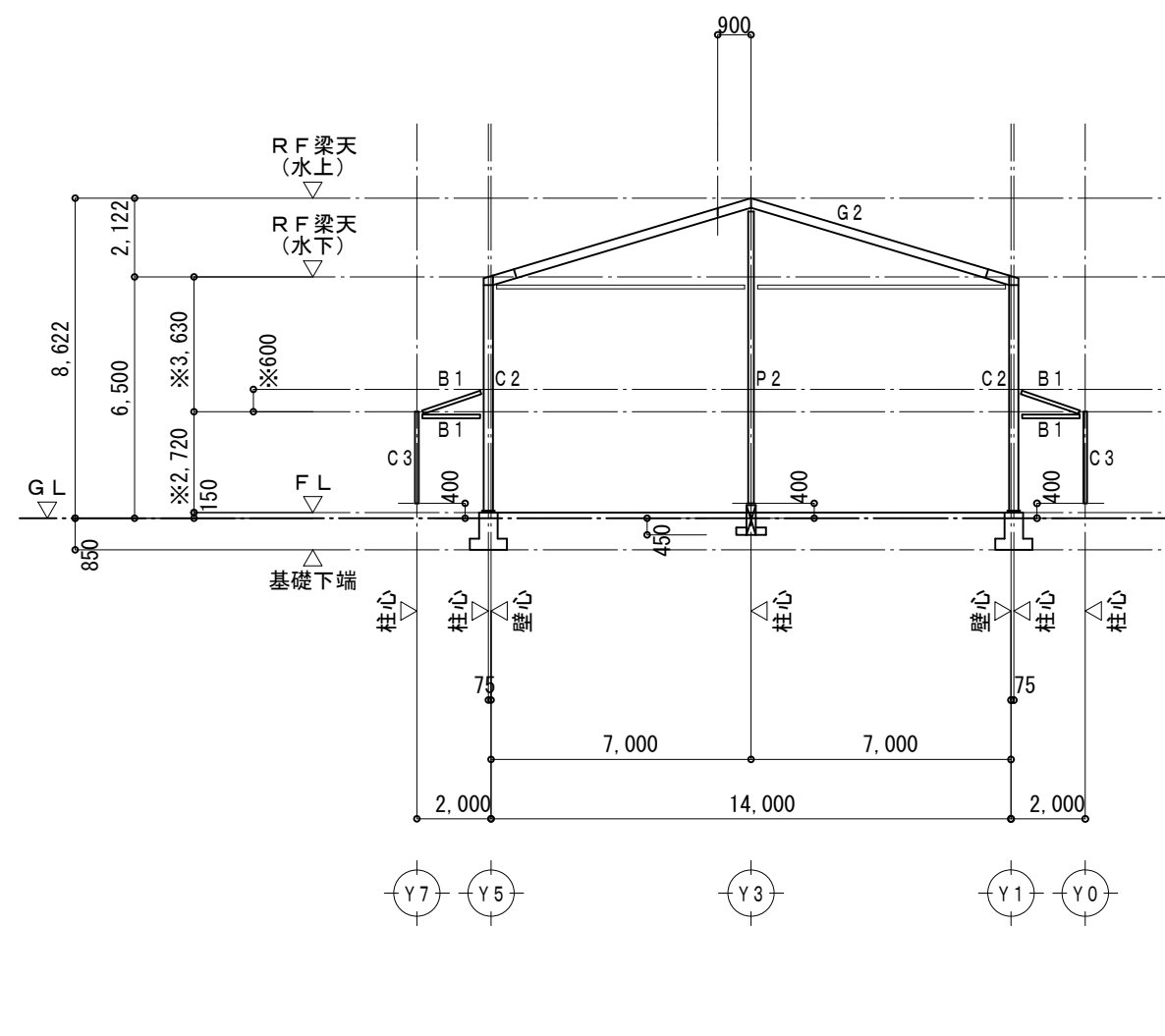
X0通り軸組図 1:200

- 凡例
特記無き限り
1. ※寸法は 施工図を作成し監理者の承認を得る事
2. B. PL下端は GL+400とする



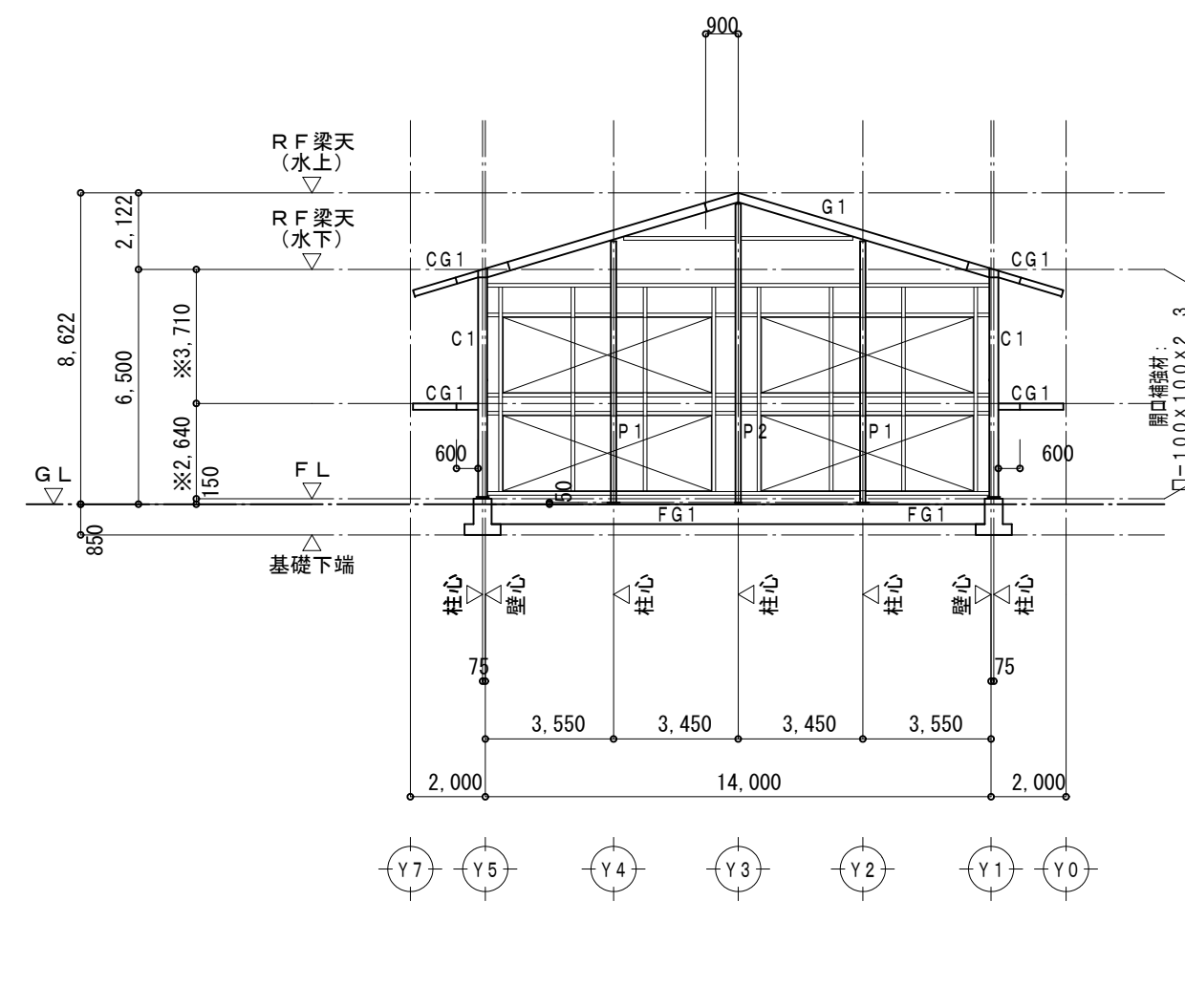
X19通り軸組図 1:200

- 凡例
特記無き限り
1. G梁現場接合部は 柱心より725mmとする
2. 符号がない部材は □-100×100×2.3とする
3. ※寸法は 施工図を作成し監理者の承認を得る事
4. B. PL下端は GL+200とする



X3通り軸組図 1:200

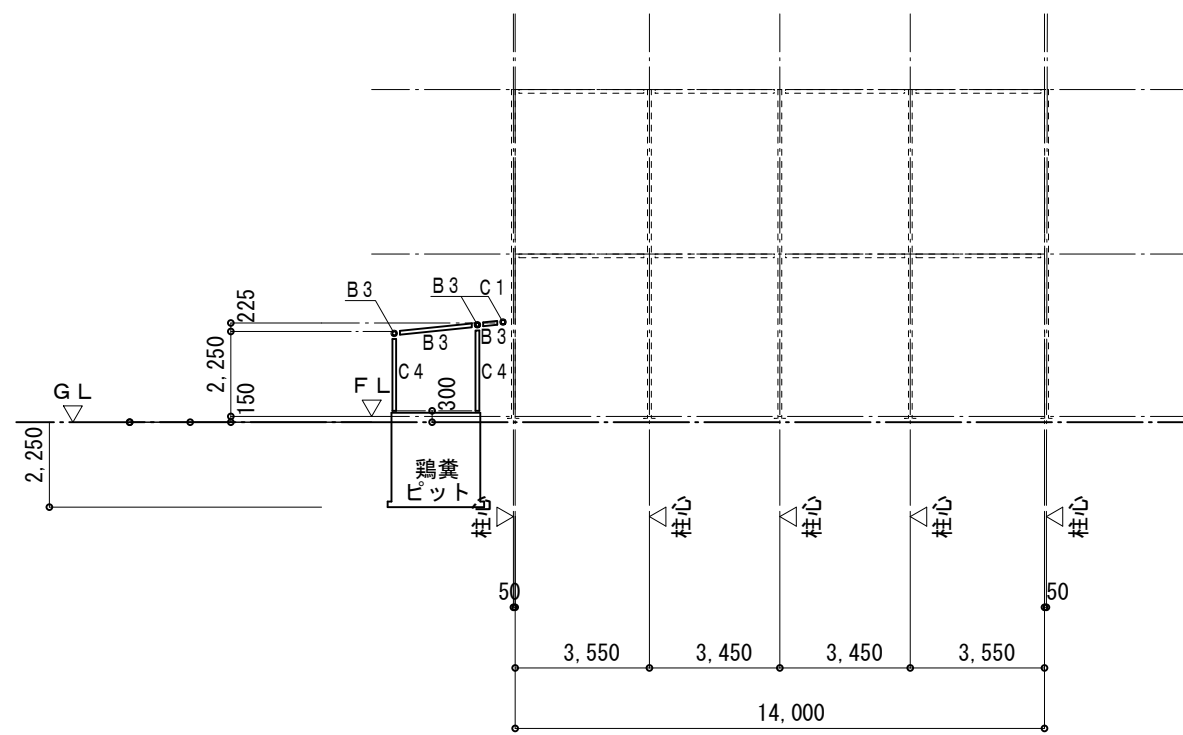
- 凡例
特記無き限り
1. G梁現場接合部は 柱心より725mmとする
2. 符号がない部材は □-100×100×2.3とする
3. ※寸法は 施工図を作成し監理者の承認を得る事
4. B. PL下端は GL+200とする



X1通り軸組図 1:200

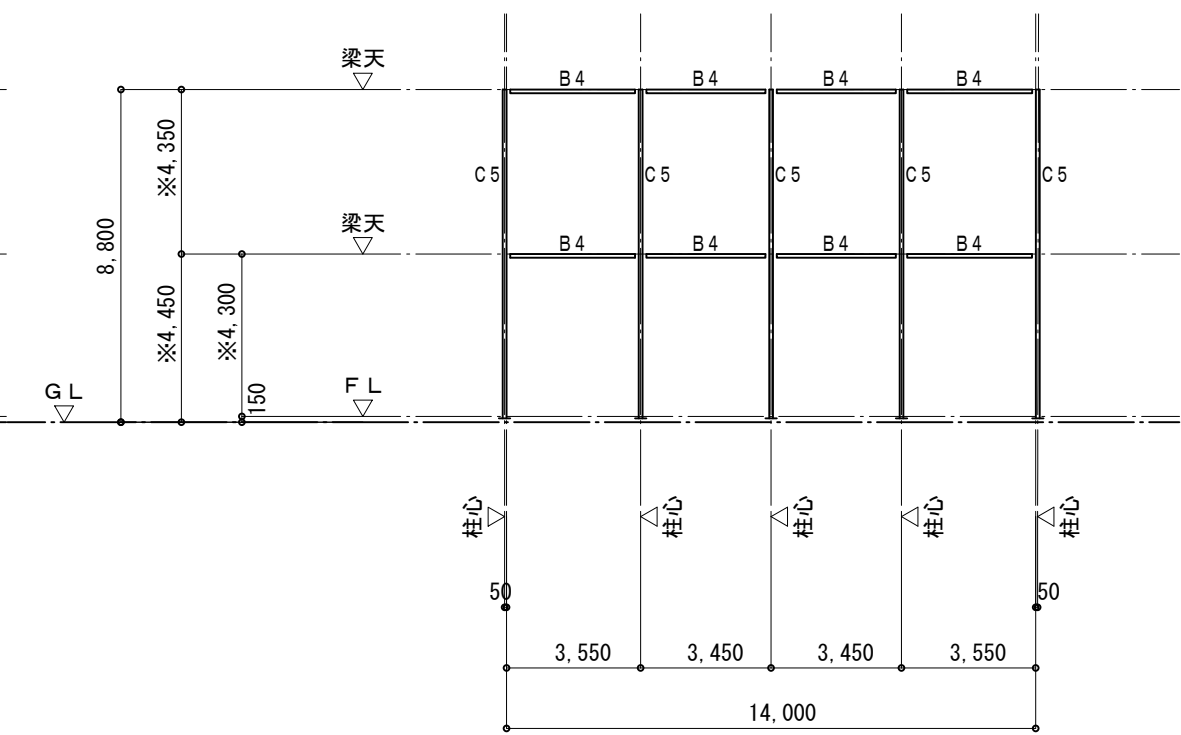
- 凡例
特記無き限り
1. G梁現場接合部は 柱心より725mmとする
2. 符号がない部材は □-100×100×2.3とする
3. ※寸法は 施工図を作成し監理者の承認を得る事
4. B. PL下端は GL+200とする

記事	NOZOE-Architects 株式会社 野添 設計 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第B-5666号	管理建築士 野添 勝久 一級建築士大臣登録 第110692号 TEL 0983-27-1018	承認	野添勝久	工事名称 香川ランテグループ第3農場Ⅱ期建設工事 縮尺 A2 1/200 A3 1/282	図面No. 【構造】 S-111
			担当	野添勝久		
			製図	野添勝久		



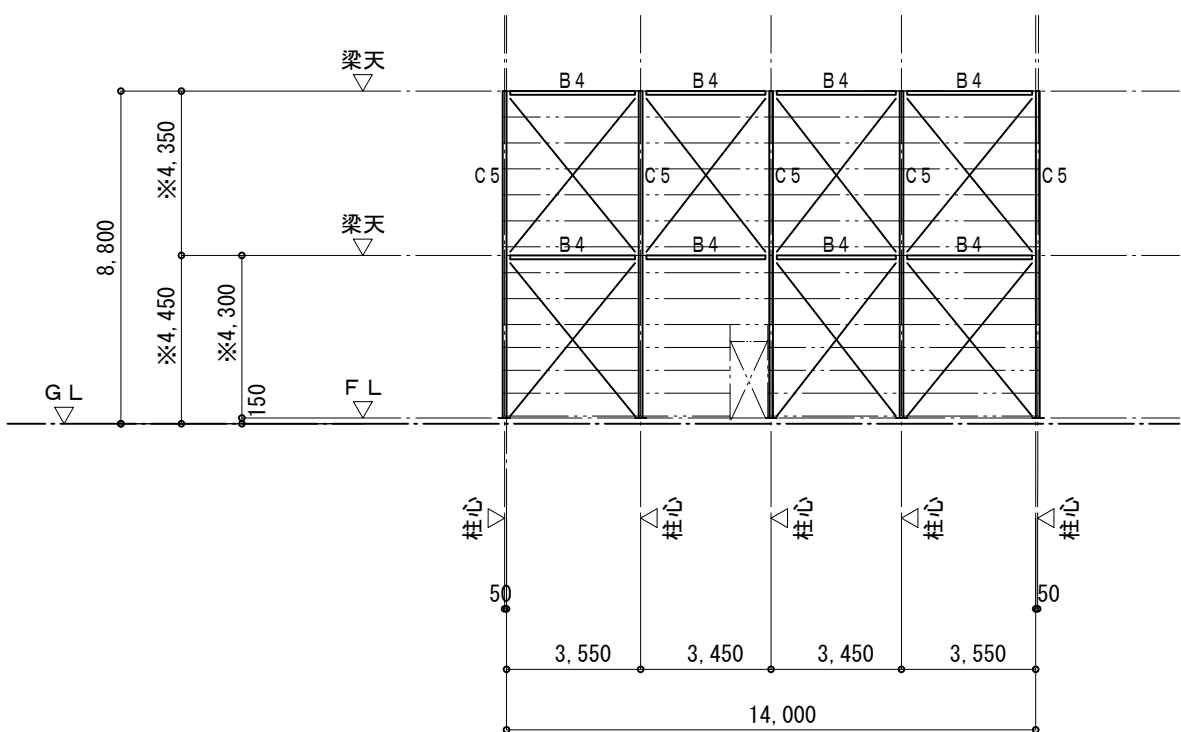
X 2 0 通り軸組図 1 : 2 0 0

凡例
特記無き限り
1、※寸法は 施工図を作成し監理者の承認を得る事
2、B、P L 下端は G L + 1 0 0 とする



X 2 1 ~ 2 0 + 8 0 0 通り軸組図 1 : 2 0 0

凡例
特記無き限り
1、※寸法は 施工図を作成し監理者の承認を得る事
2、B、P L 下端は G L + 1 0 0 とする



X 2 2 通り軸組図 1 : 2 0 0

凡例
特記無き限り
1、※寸法は 施工図を作成し監理者の承認を得る事
2、壁ブレースは W B 1 (M 1 4) とする
3、B、P L 下端は G L + 1 0 0 とする
4、--- は ヨコ胴縁を示す
5、開口補強材は C - 1 0 0 x 5 0 x 2 0 x 2 . 3 とする

記事
※4号鶏舎、5号鶏舎、6号鶏舎すべて共通

NOZOE-Architects
有限会社 野添設計
一級建築士事務所宮崎県知事登録 第B-5666号

管理建築士 野添 勝久
一級建築士大臣登録 第110692号
TEL 0983-27-1018

承認 野添勝久
担当 野添勝久
製図 野添勝久

工事名称 香川ランチグループ第3農場Ⅱ期建設工事
図面内容 ■鶏舎 軸組図 (4)

縮尺	A2	1/200	【構造】
	A3		
		1/282	S-112

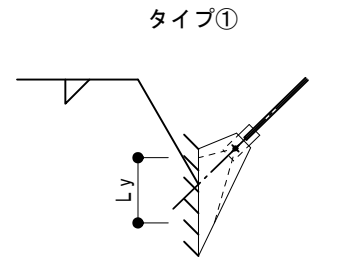
部材リスト

部材記号	部材	継手記号	部材記号	部材	継手記号	部材記号	部材	継手記号	部材記号	部材	継手記号
C1	H-250×125×6×9		G1	H-248×124×5×8	J-1	B1	□-100×100×2.3	j-1	WB1 (壁ブレース)	M14 羽子板PL- 6×60×145	
C2	H-250×125×6×9		G2	H-248×124×5×8	J-1	B2	[-100×50×5×7.5	j-2	屋根ブレース	M14 羽子板PL- 6×60×145	
C3	□-100×100×3.2					B3	□-100×100×2.3	j-3			
C4	□-100×100×3.2		CG1	H-175×90×5×8	J-3	B4	H-100×100×6×8	j-4	母屋	C-100×50×20×2.3 @1, 150以内	
C5	H-100×100×6×8		CG2	□-100×100×2.3					端部母屋方杖	2C-100×50×20×2.3 @950以内	
P1	□-150×150×6								端部母屋方杖	L-45×45×4	j-5
P2	□-100×100×3.2								ヨコ胴縁	C-100×50×20×2.3 @630以内	
									開口補強材	C-100×50×20×2.3	

部材記号	部材	部材記号	部材	部材記号	部材	部材記号	部材
C1	H-250×125×6×9	C2	H-250×125×6×9	C3	□-100×100×3.2	C4	□-100×100×3.2
<p>形状</p> <p>1、無収縮モルタルは 基礎コンクリート同強度以上とする事 2、※ダブルナットとする 3、※寸法は 再確認する事</p>							
<p>仕様</p> <p>B. PL : 290×200 t32 RIB. PL : H=80 L=80 t=12 A. Bolt : 4-M27 L=760 (フック付き)</p> <p>B. PL : 290×200 t25 A. Bolt : 4-M20 L=580 (フック付き)</p> <p>B. PL : 120×280 t12 A. Bolt : 2-M16 L=500 (フック付き)</p> <p>B. PL : 110×260 t6 A. Bolt : 2-M16 L=500 (フック付き)</p>							
C5	H-100×100×6×8	P1	□-150×150×6	P2	□-100×100×3.2	C3	□-100×100 3.2 (X0通りY1・Y5軸)
<p>形状</p> <p>1、無収縮モルタルは 基礎コンクリート同強度以上とする事 2、※ダブルナットとする 3、※寸法は 再確認する事</p> <p>柱頭</p> <p>RIB. PL-9 RG1 SGP P1</p> <p>1、※寸法は 施工図作成の上 監理者の承認を得る事</p> <p>柱脚</p> <p>1、無収縮モルタルは 基礎コンクリート同強度以上とする事 2、※ダブルナットとする 3、※寸法は 再確認する事</p> <p>柱頭</p> <p>RIB. PL-9 RG1 SGP P2</p> <p>1、※寸法は 施工図作成の上 監理者の承認を得る事</p> <p>柱脚</p> <p>1、無収縮モルタルは 基礎コンクリート同強度以上とする事 2、※ダブルナットとする 3、※寸法は 再確認する事</p> <p>左図に依る</p>							
<p>仕様</p> <p>B. PL : 280×280 t9</p> <p>柱頭 G. PL-9 HTBボルト : 2-M16</p> <p>柱脚 B. PL : 220×330×9 A. Bolt : 2-M16 L=500 (フック付き)</p> <p>柱頭 G. PL-9 HTBボルト : 2-M16</p> <p>柱脚 B. PL : 120×280 t12 A. Bolt : 2-M16 L=500 (フック付き)</p> <p>柱頭 G. PL-9 HTBボルト : 2-M16</p> <p>柱脚 B. PL : 200×200 t12 A. Bolt : 2-M16 L=500 (フック付き)</p>							

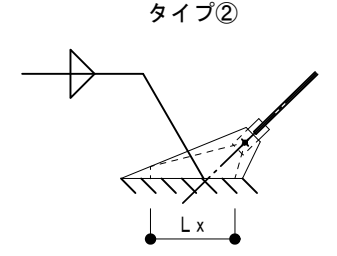
記事	<p>NOZOE-Architects 有限会社 野添設計 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第B-5666号</p>	<p>管理建築士 野添 勝久 一級建築士大臣登録 第110692号 TEL 0983-27-1018</p>	承認	野添勝久	<p>工事名称 香川ランテグループ第3農場Ⅱ期建設工事</p> <p>図面内容 ■鶏舎</p> <p>部材リスト・接合詳細図(1)</p>	縮尺	A2	1/30	【構造】	S-113
			担当	野添勝久						
			製図	野添勝久						

G 梁 接 合 部 詳 細 図	継手記号 梁部材	J-1	H-248×124×5×8	J-2		J-3	H-175×90×5×8	
	形状							
	仕様	フランジ	2PL-12	HTB: 24-M16		フランジ	2PL-16	HTB: 16-M16
		ウェブ	2PL-6	HTB: 8-M16		ウェブ	2PL-6	HTB: 4-M16

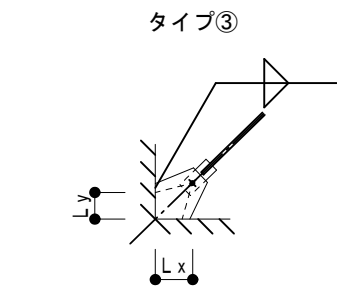


ブレース径: M14
 ①溶接サイズ S=6mm
 ②必要溶接長さ Ln=65mm
 ③必要溶接長さ算定式 $L_n \geq L_y$

B 梁 接 合 部 詳 細 図	継手記号 梁部材	j-1	□-100×100×2.3	j-2	[-100×50×5×7.5	j-3	□-100×100×2.3	j-4	H-100×100×6×8
	形状								
	仕様		G. PL-6	HTB: 2-M16	G. PL-6	HTB: 2-M16	G. PL-6	中ボルト: 2-M12	G. PL-6



ブレース径: M14
 ①溶接サイズ S=6mm
 ②必要溶接長さ Ln=45mm
 ③必要溶接長さ算定式 $L_n \geq L_x / 2 + 2S$

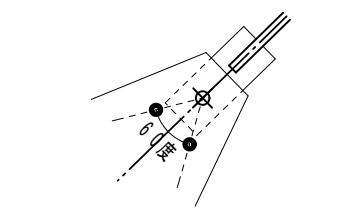


ブレース径: M14
 ①溶接サイズ S=6mm
 ②必要溶接長さ Ln=55mm
 ③必要溶接長さ算定式 $L_n \geq (L_x + L_y) / 4 + 2S$

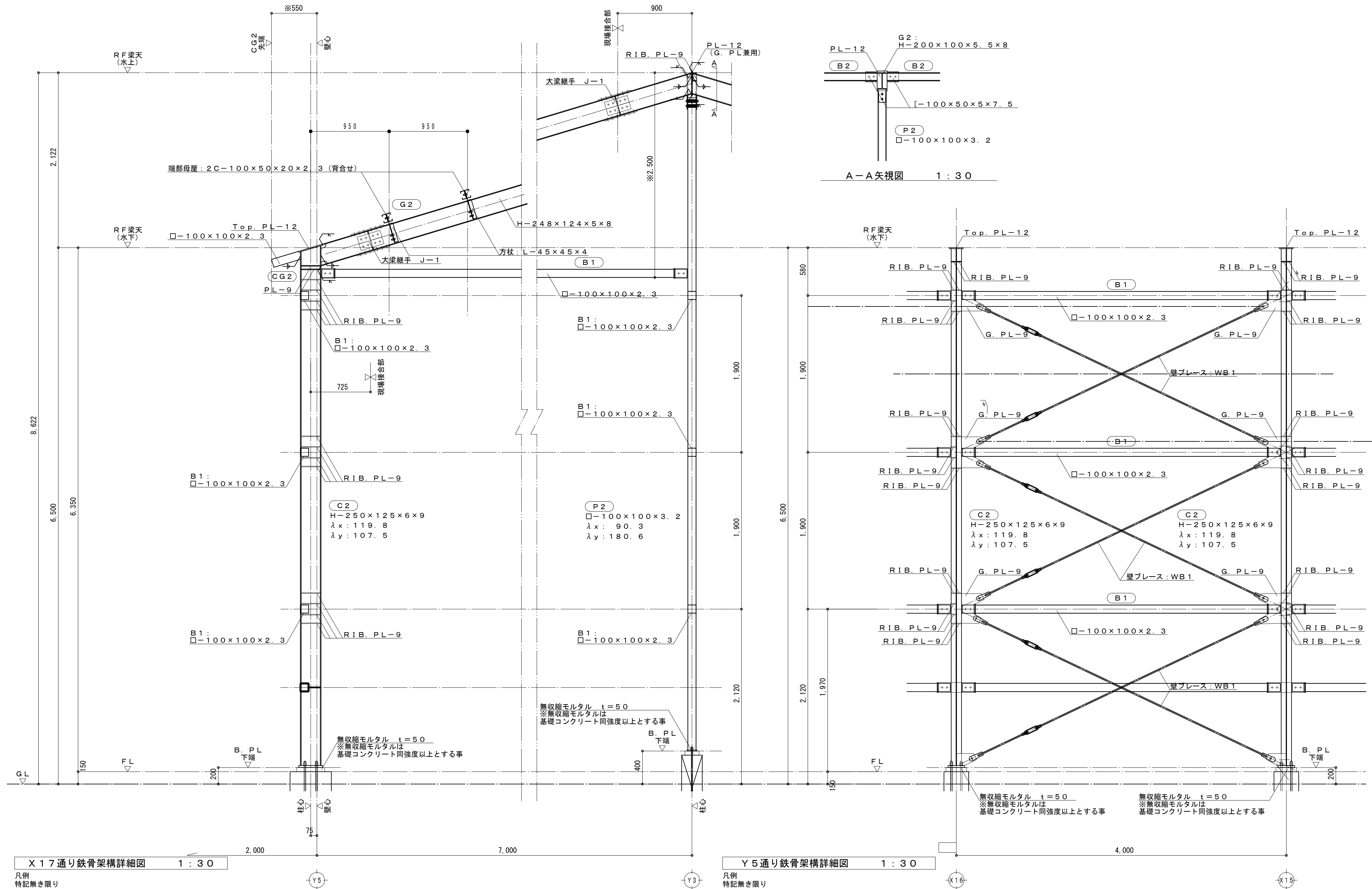
端 部 母 屋 方 杖 接 合 部 詳 細 図	継手記号 梁部材	j-5	L-45×45×4
	形状		
	仕様	梁接合部	G. PL-4.5 中ボルト: 2-M12
		母屋接合部	G. PL-4.5 中ボルト: 4-M12

屋 根 ブ レ ー ス 接 合 部 詳 細 図	部材	M14
	形状	
	共通事項	●GP羽子板プレートはSS400 ●ターンバックルボルトは JIS A5542規格品 (SS400又は SR235) の転造ネジ ●ターンバックル網は JIS A5541規格品 (1種はSS400 2種はSTKM 11A-14A) 機種は1種(割枠式)及び2種(パイプ式)とする

ブレース溶接要領図



※必要溶接長さは HTBボルト心から 60度(片側30度)の範囲内で満足させる事



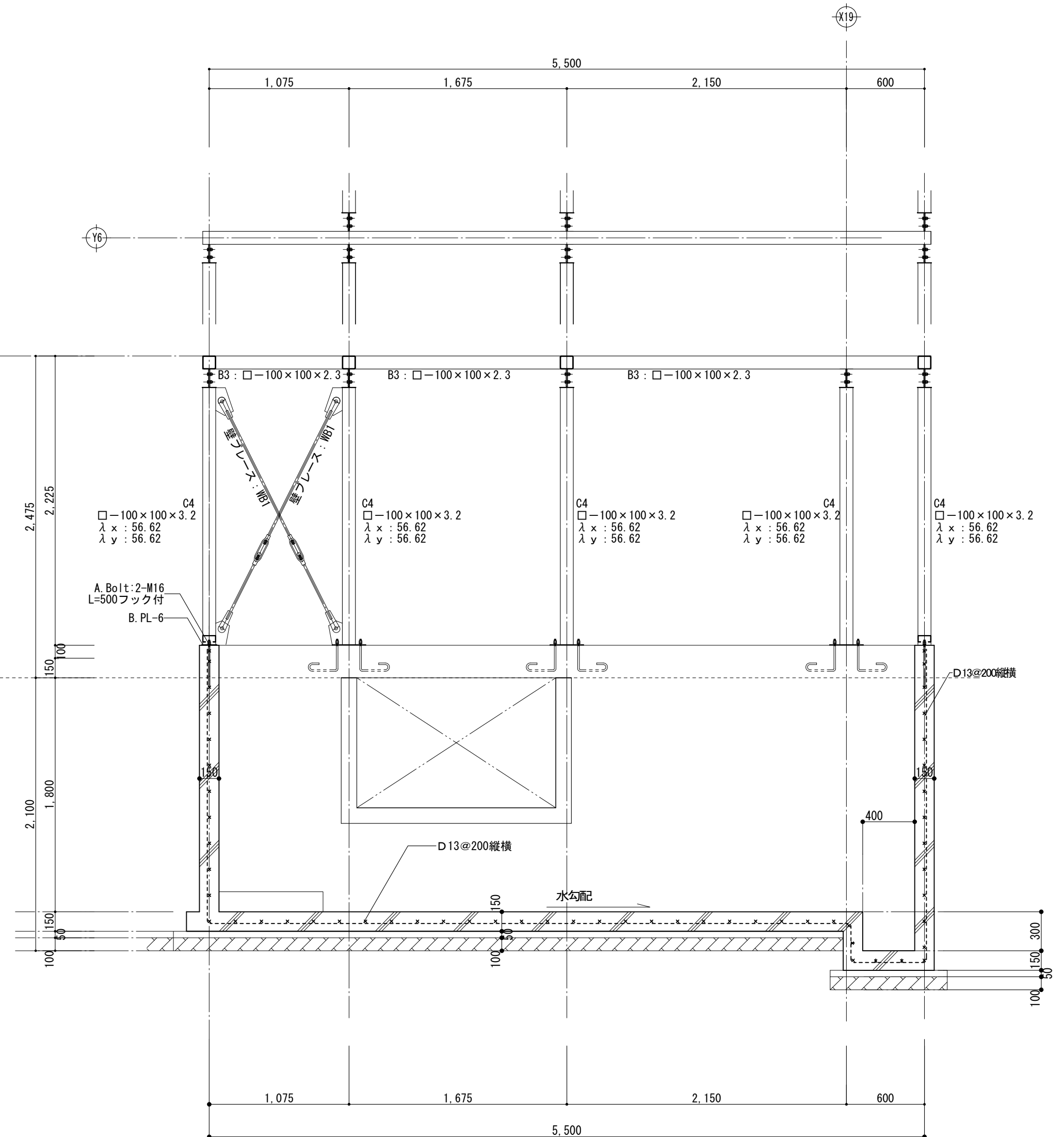
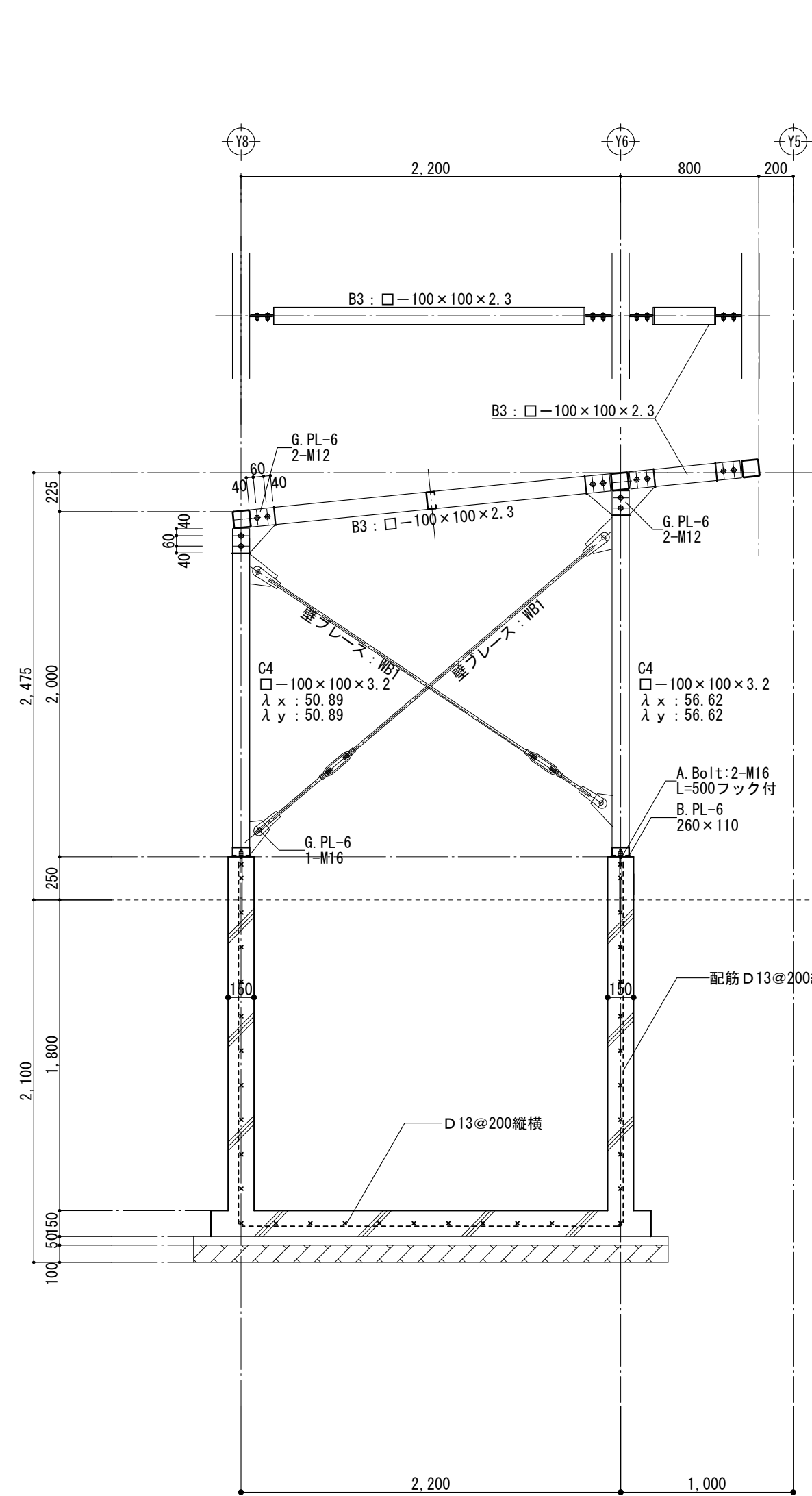
X 17 通り鉄骨架構詳細図 1 : 30

Y 5 通り鉄骨架構詳細図 1 : 30

凡例
特記無き限り
1、寸法は 施工図を作成し監理者の承認を得る事

凡例
特記無き限り
1、HTB径は M16とする

記事	NOZOE-Architects 有限会社 野添設計 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第B-5666号	管理建築士 野添 勝久 一級建築士大臣登録 第110692号 TEL 0983-27-1018	承認	野添勝久	工事名称 香川ランテグループ第3農場Ⅱ期建設工事 図面内容 ■鶏舎 鉄骨架構詳細図	A2	1/30	【構造】	S-115
			担当	野添勝久		縮尺			
			製図	野添勝久					



ピット小屋構造詳細図 S=1:30

記事	NOZOE-Architects 有限会社 野添設計 一級建築士事務所宮崎県知事登録 第B-5666号	管理建築士 野添勝久 一級建築士大臣登録 第110692号 TEL 0983-27-1018	承認	野添勝久	工事名称	香川ランテグループ第3農場Ⅱ期建設工事	縮尺	A2	1/30	図面No.	【構造】
			担当	野添勝久	図面内容	■鶏舎		A3		S-116	
			製図	野添勝久		ピット小屋構造詳細図		1/43			

